

西暦	年月日	教育の歩み（教頭の歩み）	社会事象
1868	明1・4・6	五ヶ条の「御誓文」を發布 明治 1868 ~ 1912	明1・4・20 神仏分離の令を發布
1872	〳5・9・5	「学制」を頒布し、学区、学校、教員、経費等を規定 ※学制序文では、封建的身分制的差別から個人を開放し、個々人の立身治産昌業の実現を図り、欧米「文明」を取り入れた学習内容に変え、後進日本の早急な欧化「富国強兵」の実現をめざし、まさに「邑に不学の戸なく家に不学の人なからしめんことを期す」ものであった。そこで、全国を8大学区・1大学区を32中学区・1中学区を20小学区とし、各学区に1校を設立させるものであった。 文部省「小学教則」及び「中学教則略」を公布 ・ 師範学校はじめて卒業生10人を出す ・ 大学教員は教授、中学教員は教諭、小学教員は訓導とする ・ 師範学校卒業のほかに、検定試験による小学訓導の資格付与の規則制定	〳5・5・29 東京に範圍学校設置 〳5・10・14 新橋・横浜間鉄道開通 〳5・12・9 太陽暦を採用 〳5・12・28 徴兵の詔書及び太政官告諭 〳6・1・10 徴兵令發布
1873	〳6・8・7 〳6・10・10	教頭2 「栃木県学事年報」による教頭の記述 明7 「…付属小学ヲ担任セシメ而后試験ヲ遂ゲ其学力ニ随テ、大・中・小教頭ニ任ジ各地ニ派出セシム…」	〳7・2・7 閣議台湾征討決議 〳7・3・13 東京女子師範学校設置
1874	〳7・7・25	文部省布達により小学生徒の学齢を満6年から満14年までと定める	〳7・2・7 閣議台湾征討決議 〳7・3・13 東京女子師範学校設置
1875	〳8・1・8	教頭3 クラーク札幌農学校の教頭となる 明9・7・31 クラーク、札幌学校へ着任、明9・8・14 札幌学校を札幌農学校と改称し開校。クラーク、教頭として翌年4月	〳9・3・28 廢刀令を制定 〳10・2・15 西南の役起こる
1868	明1・4・6	教頭1 はじめての教頭明記 明2 開成学校沿革に「フルベッキを教頭とする」とある。 ※東京開成学校は文部省直轄の官立専門学校となり後に東京大学となった。	〳4・9・2 大学を廢して文部省を置く

1881	1880	1879
<p>〳 14・6・18 〳 14・6・15 〳 14・5・4</p>	<p>〳 13・12・28</p>	<p>明 12・9・29</p>
<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 30%;"> <p>第2次教育令（改正教育令）公布</p> <p>※公教育に対する政府の「干渉」強化、公教育の水準向上を期すものであった。就学は小学校3年課程の修得を最低限条件とされ、学校以外の就業は郡区長の認可を要するとした。さらに修身科が小学校教科目の首位に位置づけられた</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「小学校教則綱領」を制定 ・府県立村町村立学校職員名称並びに准官等を定める（はじめて校長の職種を規定） ・「小学校教員心得」を制定 </div> <div style="width: 35%; border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>教頭4 公立小学校教頭制実施伺（東京府）</p> <p>明13・3・23授業上の総理にあたる教員が必要であるとして出された文書の中に、「公立小学校授業上整理之為メ毎校教員之内ニテ教頭一名ヲ置キ其人名選定之上可届出此旨相違候事」とある。 （東京都教育史資料大系）</p> </div> <div style="width: 30%; border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>教頭5 首座教員を教頭と呼ぶ（大阪府）</p> <p>明13 大阪府は明治10年小学校の主席訓導を学校監事に任命し、一般には首座教員と呼ばれた。明治13年学校監事は廃されたが、「各校ノ便宜ニヨリ更ニ教頭ヲ設ケ」てもよいとなり、首座教員を教頭と呼ぶことが許された。北浜小日誌や道修小学校頭印など残っている。</p> </div> </div> <div style="width: 30%; margin-top: 10px;"> <p>「学制」を廃し、「教育令」を公布</p> <p>※3次にわたる教育令は、明治5年の「学制」の改正であった。</p> <p>第1次教育令は、「学制」が中央集権的で画一化を進めたことを反省して、地域の条件に適應した公教育の普及に重点を置いた。「学区」を廃し、町村を小学校設立の母体とした。但し学校設置を自由に任せたため経済的に貧困な町村では教育の崩壊がみられ、翌年の改正を持つこととなった。</p> </div> <div style="width: 30%; margin-top: 10px; border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>まで教育にあたる。</p> </div>		
<p>〳 15・7・10 東京女子師範学校予科を廃止、付属高等女学校を設置（修業年限5年、高等女校の</p> <p>〳 15・1・4 軍人勅諭発布</p> <p>〳 13・10・25 宮内省式部寮雅楽課「君が代」を作曲、海軍省雇教師エッケルトが編曲（11・3天長節にはじめて御前演奏）</p>	<p>〳 12・10・27 徴兵令改正（兵役年限延長・免役条件を縮小）</p>	<p>明 10・9・24 西郷隆盛自刃し西南の役終わる</p> <p>〳 12・4・4 琉球藩を廃し、沖縄県とする</p>

1904	1903	1900	1899	1898	1897	1894	1891	明23
〃 37・4・1	〃 36・4・13	〃 33・8・20	〃 32・10・20	〃 32・2・7	〃 31・3・31	〃 31・1・12	〃 30・10・9	〃 27・1・23
<ul style="list-style-type: none"> 〃 36・4・29 ・ 修身・国語・日本史・地理・図画の教科書は必ず国定教科書使用となる。 ・ 小学校国定教科書使用開始 	<p>国定教科書制度成立</p> <p>※明5年以前にも欧米より移入した教科書が出版されていた。明5年に「小学教則」公布。教科目、時間配当、教科書とその取扱いが指示された。基準として示された小学校教科書の多くは、翻訳か翻案の内容で編成されていた。翻訳教科書は生徒の学習のみならず一般人の啓蒙書としても普及した。明20年から教科書検定制度が実施された。明35年に教科書採択に関連しての不正が摘発され、教科書事件として注目をあびた。このような事態のなかに文部省は国定制度による教科書を発行しなければならなくなった。</p>	<p>小学校令改正、小学校令施行規則を公布</p> <p>※尋常小学校を4年に統一、高等小学校は2年、3年、4年の3種。</p> <p>義務教育制度の整備確立、教科目の整理統合、必修科目の制定、児童の心身の負担軽減に対する配慮、教員組織の強化等である。富国強兵政策と共に国民教育の基礎整備成る。</p>	<p>小学校教育国庫補助法を公布</p> <p>中学校令改正。実業学校令公布。高等女学校令公布</p> <p>市町村小学校に校医を置く旨公布</p> <p>文部省、東京の公立小学校が学令児童の六分の一しか収容していない状況を問題化して、東京市に公立小学校の増設を命じる</p>	<p>師範教育令公布（明19の師範学校令を廃止し、尋常師範を師範学校に改む）</p> <p>文部省、教員の政治関与禁止について訓令</p>	<p>「教育ニ関スル勅語」発布</p> <p>※明治天皇の名で発布。戦前における国民道徳の形成に大きな役割を果たした。</p> <p>・ 「小学校設備準則」を制定</p> <p>・ 「小学校の施設・設備について包括的な規定を設け、標準化を図った。</p> <p>・ 「小学校長及び教員職務及服務規則」を制定</p>	<p>明24・5・11大津事件 （露国皇太子遭難）</p> <p>〃 24・12 （調）学齡児童七、一九五、四一二人のうち就学者三分の一を示す</p> <p>〃 27・8・1日清戦争おこる</p> <p>〃 28・4・17日清講和条約</p> <p>〃 30・2・1八幡製鉄所設立</p>		
<p>〃 38・5・27日本海海戦（〜28） （宣戦布告）</p>	<p>〃 37・2・10日露戦争始まる 開催</p>	<p>〃 33・4・14パリ万国博覧会開催 （「日本美術史」を仏文で刊行）</p>	<p>〃 33・2・7未成年者喫煙禁止法公布</p>	<p>〃 32・3・16府県制・郡制を改正</p>	<p>〃 27・8・1日清戦争おこる</p> <p>〃 28・4・17日清講和条約</p>	<p>〃 27・1・23</p>	<p>〃 24・11・17</p>	<p>〃 24・4・8</p>

西暦	年月日	教育の歩み（教頭の歩み）	社会事象
1913	大2・7・16	<p>「小学校令」中改正</p> <p>※府県授与の免許状を全国に有効とし、また教育・兵事・産業衛生・慈善等の目的のため校舎・校地の使用を認める。</p>	<p>明38・9・5日露講和条約調印（ポーツマス条約）</p> <p>明39・8・1日米海底電線竣工</p>
1911	大44・4・1	<p>「市町村立小学校教員退隠料及遺族扶助料法」改正</p>	<p>大44・2・21日米修正通商航海条約に調印</p> <p>大45・7・30明治天皇崩御</p> <p>皇太子嘉仁親王踐祚</p> <p>大正と改元</p>
1910	大43・10・13	<p>教頭7 教頭不要論</p> <p>沢柳政太郎著「教師及校長論」によると、校長の職務を考えるとき、教頭は必要でない。校長が活動の中核であるとしたならば……と論述（明41）</p>	<p>大43・8・22韓国併合に関する条約調印</p>
1908	大41・10・13	<p>教頭8 首席訓導</p> <p>明43・10・24 文部省普通学務局長通牒に、はじめて首席訓導の呼称がでる。義務教育六ヶ年制との関連による学校教育の充実を意味する。</p>	
1907	明40・3・21	<p>小学校令改正</p> <p>※尋常科を6年として義務制を延長、高等科を2年または3年とする。</p> <p>・「師範学校規程」を制定（本科第二部を設置）</p> <p>・「師範学校規程」を制定（本科第二部を設置）</p> <p>戊申詔書発布</p> <p>※明治天皇の下した詔書。日露戦争後、国民が徒らに戦勝の榮譽に酔い、人心がしだいに浮華に流れるのを誡め、国民的道義の大本を示したものの。</p>	
		<p>大正 1912 ～ 1926</p>	

1929	1928	1926	1925	1924	1923	1922	1919	1917				
〳 4・9・10	〳 4・4・1	〳 3・4・17	昭 3・1・20	〳 15・4・22	〳 14・4・1	〳 13・10・11	〳 12・11・10	〳 12・11・28	〳 11・12・28	〳 8・2・7	大 6・1・29	
<p>・「公立学校職員制」公布 ・「公立学校職員待遇官等等級令」公布 ※公立学校全般に通ずる職員制を初めて制定</p> <p>「小学校令」を改正 ※臨時教育会議の答申に基づく改正。教員給与、小学校教育の根本方針、小学校の学習課程等広範な改革がなされた。 ・文部省、小学校教育費整理節約に関して訓令</p> <p>市町村義務教育費国庫負担法を改正 国民精神作興に関する詔書発布 ※関東震災による社会不安のふかまりを鎮静することを直接の動機とし、第一次大戦後の社会風俗の弛緩と動揺をいましめ、明治の方針に遵うことを強調した。教科書に掲載し、これを読誦し、その徹底をはかった。</p> <p>・文部省専門学校入学者検定試験を国家試験に統一（受験者急増） ・師範学校規程を改正（本科一部の修業年限を5年に延長、第二部は男子1年女子1年または2年、専攻科は1年。小学校高等科2年卒業と同時に師範入学可能となる。）</p> <p>「小学校令」および同施行規則を改正（高等小学校の内容改善、幼稚園の規程削除等）同時に改正の要旨、施行上の注意事項を訓令</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> 昭和 1926 ~ 1929 </div> <p>・専門学校令を改正（人格の陶冶・国体観念の養成・公私立専門学校に対する文部大臣の監強化等） ・文部省思想問題に関し訓令 ・文部省学生生徒の思想傾向の匡正、国民精神作興を訓令 ・教員の俸給不払、減俸、減首等全国各地におこる ・文部省国体観念の明徴、国民精神作興のため教化動員に関する件を訓令</p>												
〳 3・2・20 第一回普通選挙	昭 2・3・2 金融恐慌おこる	〳 15・12・25 大正天皇崩御 皇太子裕仁親王践祚 昭和と改元	〳 14・3・22 東京放送局放送開始	〳 14・4・13 「教練教授要目」を制定	〳 13・7・1 「メートル法」実施	〳 12・9・1 関東大震災	〳 11・3・3 全国水平社創立	〳 11・7・15 日本共産党結成	〳 10・3・15 戦後恐慌はじまる （ベルサイユ条約）	〳 8・6・28 対独講和条約	〳 7・11・11 第一次世界大戦終了	大 7・8・2 政府シベリヤ出兵宣言

西暦	年月日	教育の歩み（教頭の歩み）	社会事象
1939	14・5・22 14・4・26	<p>青年学校を義務制とする（満12歳以上満19歳未満の男子就学義務） 〔青少年学徒二賜ハリタル勅語〕下賜</p>	14・9・3 第二次世界大戦おこ
1937	12・12・10 12・5・31	<p>〔教育審議会〕を設置（文教審議会廃止）</p> <p>・ 文部省編「国体の本義」30万部を全国の学校に配布</p>	12・11・6 日独伊防共協定
1935	10・10・1 10・4・10	<p>〔青年学校教員養成所令〕公布</p> <p>・ 文部省天皇機関説問題と関連して国体明徴を強調</p>	11・2・26 二・二六事件おこる 11・5・15 ロンドン軍縮会議脱退
1933	8・4・1	<p>〔小学校国語〕「尋常小学算術」など新編集の小学校国定教科書使用開始</p> <p>※ サイタサイタクラガサイタではじまるクラ読本がこの年の一年から使われた。</p> <p>児童の生活と心理を重んじた教育方法上の工夫がみられた。</p> <p>低学年には色刷りのさし絵がはじめて登場した。</p> <p>・ 長野県で教員など一斉検挙はじまる。四月までに六五校、一三八人を検挙。</p>	8・1・30 ヒットラー独首相となる 8・3・4 ルーズベルト米大統領となる 8・3・27 日本国際連盟脱退
1932	7・9・6 7・6・1	<p>〔市町村立尋常小学校費臨時国庫補助法〕公布</p> <p>・ 東京市、肢体不自由児のための学校、光明学園開校</p>	7・5・15 犬養首相射殺さる（五・一五事件）
1931	6・5・27 6・6・17	<p>・ 「公立学校職員俸給令」等を改正し、減俸を実施</p> <p>小学校令施行規則を改正（小学校教員の減俸）</p>	6・9・18 満州事変はじまる 7・3・1 満州国独立宣言
		<p>〔教頭9〕「首席訓導学」</p> <p>昭和4年高踏社刊、稲村玉雄、水木梢共著として刊行された標記図書は、当時の教育社会状況のなかの首席訓導（教頭）のあり方をつぶさに論述している。〳〵首席訓導本質使命論、首席訓導人物才幹論、首席訓導操縦論等、具体的に記述してあり、往時を知る貴重な資料である。</p>	5・1・11 金輸出解禁を実施 5・4・22 ロンドン海軍軍縮条約調印
		<p>教頭10 首席訓導会誌</p> <p>昭12〳13 松本市小学校首席訓導会誌に「西山開智小学校長ヨリ 首席訓導会創始ニツキ挨拶……」等の記録が残っている。</p>	

1950	1949	1948	西暦
〳 25・12・13 〳 24・6・17 「地方公務員法」公布 ・社会教育の基本法制としての社会教育法公布	〳 24・5・31 〳 24・1・12 「教育公務員特例法」公布 「教育職員免許法」公布	〳 23・8・25 〳 23・7・15 〳 23・6・19 〳 23・4・1 〳 23・3・29 「教育委員会法」公布 ・小・中学校の最初の検定教科書展示会が全国で開かれる ●新制高等学校が発足 衆参両院、教育勅語の排除・失効について決議 ・文部省、教員養成はすべて大学で実施する旨を発表	昭22・11・11 〳 22・12・12 「児童福祉法」公布 ・文部省、視学制度の廃止、指導主事の設置を都道府県に通告 教育の歩み（教頭の歩み）
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <p>教頭13 「中学校・高等学校管理の手引」に教頭の一項に</p> <p>昭25・3 文部省編「中学校・高等学校管理の手引」の〳教頭の一項に</p> <p>「中学校・高等学校には、どんな小さい学校でも教頭がいなくてはならない。教師の数が、わずか三、四人の学校であっても、その一人が教頭に任命せられ、正規の教師としての勤務はもちろん、一定の管理上の職務を遂行し、また校長不在の時はその職務を代行するものである。要は学校運営に完全に責任をもつ人物が常に学校にいないてはならないのである。」また教頭の選任についても校長が教育長に推せんし、教育長が教育委員会に推せんして行うものと述べてある。</p> </div>			
〳 25・5・6 文相天野貞祐	〳 24・12・10 湯川秀樹博士ノーベル物理学賞・受賞 〳 24・9・15 税制のシャープ勧告 〳 24・10・1 中華人民共和国成立宣言	〳 23・7・15 G H Q 新聞事前検閲廃止 〳 23・8・15 大韓民国の樹立宣言 〳 23・10・19 文相下条康磨 〳 24・1・1 G H Q 国旗自由掲揚を許可 〳 24・1・1 公務員の勤務時間48時間制実施 〳 24・2・16 文相高瀬莊太郎 〳 24・4・23 1ドル360円の単一為替レート設定	昭22・11・25 共同募金はじめて全国いつせいに実施 〳 22・12・22 「改正民法」公布 〳 23・2・16 朝鮮民主主義共和国の樹立宣言 〳 23・3・10 芦田内閣成立 〳 23・4・24 G H Q 祝日の国旗掲揚を許可 〳 23・7・15 G H Q 新聞事前検閲廃止 〳 23・8・15 大韓民国の樹立宣言 〳 23・10・19 文相下条康磨 〳 24・1・1 G H Q 国旗自由掲揚を許可 〳 24・1・1 公務員の勤務時間48時間制実施 〳 24・2・16 文相高瀬莊太郎 〳 24・4・23 1ドル360円の単一為替レート設定 昭22・11・25 共同募金はじめて全国いつせいに実施 〳 22・12・22 「改正民法」公布 〳 23・2・16 朝鮮民主主義共和国の樹立宣言 〳 23・3・10 芦田内閣成立 〳 23・4・24 G H Q 祝日の国旗掲揚を許可 〳 23・7・15 G H Q 新聞事前検閲廃止 〳 23・8・15 大韓民国の樹立宣言 〳 23・10・19 文相下条康磨 〳 24・1・1 G H Q 国旗自由掲揚を許可 〳 24・1・1 公務員の勤務時間48時間制実施 〳 24・2・16 文相高瀬莊太郎 〳 24・4・23 1ドル360円の単一為替レート設定

1956	1955	1954	1953	1952	1951
〳 31 ・ 6 ・ 30	〳 30 ・ 8 ・ 13 〳 30 ・ 7 ・ 30	〳 29 ・ 6 ・ 3 〳 29 ・ 6 ・ 1 〳 28 ・ 10 ・ 31	〳 28 ・ 8 ・ 18 〳 28 ・ 8 ・ 8 〳 27 ・ 11 ・ 1 〳 27 ・ 8 ・ 8 〳 27 ・ 6 ・ 6 〳 27 ・ 4 ・ 10 〳 27 ・ 3 ・ 31 〳 27 ・ 3 ・ 11	〳 26 ・ 7 ・ 10 〳 26 ・ 5 ・ 5 〳 26 ・ 4 ・ 26	昭 26 ・ 1 ・ 4
〔地方教育行政の組織及び運営に関する法律〕公布	<ul style="list-style-type: none"> ・学校給食法、婦人教師の産前・産後の休暇法等が成立 ・日本民主党「うれうべき教科書の問題」第1集発行 	<ul style="list-style-type: none"> 〔学校教育法施行令〕公布 ・「へき地教育振興法」公布 	<ul style="list-style-type: none"> 〔義務教育諸学校における教育の政治的中立の確保に関する臨時措置法〕「教育公務員特例法の一部を改正する法律」(教育2法)公布 〔理科教育振興法〕・「学校図書館法」公布 ・「一般職の職員の給与に関する法律の一部を改正する法律」(教員給与3本建ての法律)成立 	<ul style="list-style-type: none"> ・「学校基本調査規則」制定 ・「新たに入学する児童に対する教科用図書の給与に関する法律」公布 ・教職員適格審査制度の廃止について通達 〔中央教育審議会〕設置(教育刷新審議会廃止) 〔義務教育費国庫負担法〕公布(昭和28・4・1施行) 市町村教育委員会全国いっせいに発足 	<ul style="list-style-type: none"> ・文部省の教育課程審議会、道徳教育の特設をさげ、全教育活動の中で道徳教育を強化する方策を答申 ・文部省「道徳教育の手引要項」発表 〔児童憲章〕制定 ・文部省「学習指導要領一般編(試案)」改訂発行
〳 31 ・ 12 ・ 23 石橋湛山内閣成立文	〳 30 ・ 11 ・ 22 文相清瀬一郎	〳 29 ・ 12 ・ 10 鳩山一郎内閣成立文 相安藤正純	〳 28 ・ 2 ・ 1 NHKテレビ本放送開始	〳 27 ・ 5 ・ 1 皇居前血のメーデー	昭 25 ・ 6 ・ 25 朝鮮戦争はじまる
〳 30 ・ 11 ・ 15 保守合同、自由民主党結成	〳 30 ・ 10 ・ 13 社会党統一大会	〳 29 ・ 7 ・ 1 自衛隊発足	〳 28 ・ 3 ・ 2 スターリン死去	〳 27 ・ 8 ・ 12 文相岡野清豪	〳 26 ・ 4 ・ 11 マッカーサー司令官解任、後任リッジウエイ中尉任命
〳 30 ・ 3 ・ 19 文相松村謙三	〳 29 ・ 12 ・ 7 吉田茂内閣総辞職	〳 27 ・ 10 ・ 14 日本PTA全国協議会結成	〳 28 ・ 5 ・ 21 文相大達茂雄	〳 27 ・ 10 ・ 10 日本PTA全国協議会結成	〳 26 ・ 7 ・ 2 日本、ユネスコに加盟
〳 30 ・ 11 ・ 15 保守合同、自由民主党結成	〳 29 ・ 12 ・ 10 鳩山一郎内閣成立文 相安藤正純	〳 27 ・ 5 ・ 1 皇居前血のメーデー	〳 28 ・ 2 ・ 1 NHKテレビ本放送開始	〳 27 ・ 8 ・ 12 文相岡野清豪	〳 26 ・ 7 ・ 10 日教組「教師の倫理綱領草案」発表
〳 31 ・ 12 ・ 23 石橋湛山内閣成立文	〳 30 ・ 11 ・ 22 文相清瀬一郎	〳 29 ・ 7 ・ 1 自衛隊発足	〳 28 ・ 3 ・ 2 スターリン死去	〳 27 ・ 5 ・ 1 皇居前血のメーデー	〳 26 ・ 9 ・ 8 対日平和条約、日米安全保障条約調印

西暦 年月日	1957 1958	教育の歩み（教頭の歩み）	社会事象
昭32・12・4	〳 33・3・18 〳 33・4・10 〳 33・4・23 〳 33・5・1 〳 33・7・9 〳 33・8・28	<p>「学校教育法施行規則」を改正、教頭の設置、特殊教育の充実等を定める。 ※文部省令により学校教育法施行規則の一部を改正し、第二十二條の二に教頭の項目を追加した。国民学校令廃止後10年ぶりの法規上の位置づけである。</p> <p>教頭14 学校教育法施行規則に教頭を明記 第二十二條の二 小学校においては、教頭を置くものとする。 ただし、特別の事情のあるときは、これを置かないことができる。 ② 教頭は教諭をもってこれにあてる。 ③ 教頭は、校長を助け、校務を整理する。</p> <p>・ 文部省、「小学校・中学校・道徳」の実施要領」を通達 ・ 「学校保健法」公布 勤務評定一都三八県で実施 ※この日、都教組では勤務反対のため10割休闘争にはいった。 「公立義務教育諸学校の学級編制及び教職員定数の標準に関する法律」公布（6・30施行令公布） 7・31施行規則制定、34年度より実施 ・ 「市町村立学校職員給与負担法」を改正、校長に管理職手当を支給 ・ 文部省、小・中学校学習指導要領道徳編を告示</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>教頭15 第一回全国小中学校教頭研究大会を開く 昭33・8・11～12 お茶の水女子大学で開催 この会は、教育技術連盟主催、東京都教育委員会、全国小・中学校校長会、全国都道府県教育委員会、東京都公立小・中学校校務主任会後援で開催、都内の校務主任（教頭）三〇〇名、それに全国各地から二〇〇名が参加してのはじめての研究大会であった。これを契機に教頭会の全国組織の必要性が高まってきた。</p> </div>	相灘尾弘吉 昭32・2・25 岸信介内閣成立 〳 32・7・10 文相松永東 〳 32・10・4 ソ連人工衛星スプートニク打上げ成功 〳 33・1・31 米国、人工衛星打上げ成功 〳 33・3・9 関門トンネル（海底国道）開通 〳 33・3・27 フルシチョフ、ソ連首相就任 〳 33・6・12 文相灘尾弘吉

1959	昭33・10・1
<p>〳 34・12・17</p> <p>・「日本学校安全会法」公布</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>教頭17 第1回全国教頭協議大会 昭34・12・26～28 東京・九段会館で開催 これにさきがけて10・1～3に中央連絡協議会を開き総会準備。 第1回総会で会則決定、参加者約七〇〇名。初代会長に吉村泰助氏就任</p> </div>	<p>●文部省、「小学校学習指導要領」「中学校学習指導要領」告示</p> <p>※新教育として実施された義務教育のあり方を全面的に再検討し改訂された学習指導要領である。特に考慮された点は、①道徳教育を徹底すること。②基礎学力を充実すること、特に国語、算数の基礎学力の充実を期した。③科学技術教育の向上をはかる。④地理、歴史教育の改善充実。⑤小中学校の教育内容の一貫性。⑥各教科の目標及び内容の精選と基本的な学習に重点をおく等であった。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>教頭16 第2回全国小中学校教頭研究大会 昭34・8・20～23 福井県永平寺で開催 前年の第1回大会の成果をふまえて、全国各地から約五〇〇名が参加。参加者全員による全体懇談会で、東京都公立中学校校務主任会幹事長吉村泰助氏の提唱で「全国教頭協議会結成」の議が出される。ブロック代表者で検討、全員会議で満場一致採択、次の宣言をする。</p> <p style="text-align: center;">宣 言</p> <p>第二回全国小中学校教頭研究大会の席上で、かねて懸案の全国教頭協議会を満場一致で結成しましたことを宣言します。尚これが中央連絡協議会は、第一回を東京で開催し具体的な運動方針を樹てることにします。</p> <p>昭和三十四年八月二十一日 全国教頭協議会</p> </div>
<p>〳 34・9・26 伊勢湾台風（死者行方不明等五、〇九八人）</p>	<p>昭33・12・21 ドゴール、仏大統領に就任</p> <p>〳 33・12・23 東京タワー完成</p> <p>〳 33・12・31 文相橋本竜伍</p> <p>〳 34・1・1 メートル法施行</p> <p>〳 34・1・1 キューバ革命</p> <p>〳 34・4・10 皇太子御成婚</p> <p>〳 34・4・16 「国民年金法」公布</p> <p>〳 34・6・18 文相松田竹千代</p>

1962	1961	1960	西暦
37・3・31	36・10・26	昭35・4・1	年月日
<p>・「義務教育諸学校の教科用図書の無償に関する法律」公布</p> <p>教頭21 第4回全国公立学校教頭会総会及研究協議会 昭37・8・2～4 静岡県・伊東市立北中学校で開催</p>	<p>・文部省、中学校2、3年生を対象に、5教科全国一斉学力調査実施</p> <p>教頭20 全連小で教頭を専門職にせよと決議 昭36・11 全国連合中学校長会で、教頭を専門職にせよと決議する。</p> <p>教頭19 第3回全国教頭協議大会 昭36・8・11～13 東京・宝仙学園で開催 8・11 全国公立学校教頭会と改称</p>	<p>・昭和35年度から教頭にも管理職手当を支給</p> <p>教頭18 第2回全国教頭協議大会 昭35・8・10～12 鳥取・三朝温泉で開催 第2回大会を前記会場で開催すべく諸準備を整えた段階で、鳥取県教組より中止の申入れがあり混乱。協議の末「見学研修会」という名称に変更して実質的な協議大会を終了した記念すべき大会であった。</p>	<p>教育の歩み（教頭の歩み）</p>
		<p>昭35・1・19 日米新安保条約に調印 昭35・5・19 衆議院、安保審議で混乱、警官隊導入のなかで新安保条約と会期延長を採決 昭35・7・19 池田勇人内閣成立文相荒木万寿夫 昭35・9・10 カラーテレビ本放送開始 昭35・10・12 社会党浅沼委員長、日比谷公会堂で演説中に刺され死去 昭35・12・27 政府「国民所得倍增計画」を決定 昭36・4・19 ライシャワー米大使着任</p>	<p>社会事象</p>

1966	1965	1964	1963
〳 41・6・14 〳 41・2・20	〳 40・6・16 〳 40・6・12 〳 40・2・25 〳 40・1・26	〳 39・3・14 〳 38・12・21	昭 37・11・30 〳 37・12・3 〳 37・12・5 〳 38・4・1
ILO第87号条約発効（教師の地位に関する勧告） ※教頭が管理職に含まれることとなる。	・へき地学校に勤務する教職員に対する特別昇給の実施について通知 ・文部省、第1回道徳教育研究学校発表大会を開催 ・家永三郎教科書検定について民事裁判をおこす ・文部省、小・中学校学力調査 ※文部省は昭和33年より全国小・中・高校の児童生徒を対象に抽出法による学力テストを実施してきたが、36年から4年間・公・私立のすべての中学校の2～3年生を対象とした悉皆調査を実施し、日教組を中心に反対運動がおこり大きな混乱となった。学力調査は41年を最後に打ち切られた。	公立義務教育諸学校の学級編制及び教職員定数の標準に関する法改正法（小・中1学級児童生徒最高45人） ・文部省、小・中学校の特設道徳の指導資料第1集を発行	・文部省、第1回中学校教育課程研究集会を東京で開く ・文部省、第1回小学校教育課程研究集会を東京で開く ・池田首相、第1回「人づくり懇談会」を官邸で開く
教頭24 第7回全国公立学校教頭会総会及研究協議会 昭40・8・6～7 東京都・国立教育会館で開催	教頭23 第6回全国公立学校教頭会総会及研究協議会 昭39・8・9～11 熊本市大洋デパートホールで開催	教頭22 第5回全国公立学校教頭会総会及研究協議会 昭38・8・8～10 和歌山県高野山で開催	昭38・7・18 文相灘尾弘吉 〳 38・8・14 池田首相「人づくり懇談会」で人づくりについて諮問 〳 38・11・23 ケネディ米国大統領暗殺される 〳 39・7・18 文相愛知揆一 〳 39・10・1 東海道新幹線開業 〳 39・10・10 第18回オリンピック東京大会開催（10・24） 〳 39・11・9 佐藤栄作内閣成立

西暦 年月日	1968 1967	教育の歩み（教頭の歩み）	社会事象
昭和41・10・31	昭和42・8・1	<p>教育の歩み（教頭の歩み）</p> <p>教頭25 第8回全国公立学校教頭会総会及研究協議会 昭41・8・3～5 仙台市・東北電力ホール、朴沢女子高校で開催</p> <p>・中教審、期待される人間像を含めて「後期中等教育の拡充整備について」答申 ・文部省教材基準を通過</p>	<p>昭41・8・1 文相有田喜一 昭41・8・8 中国に文化大革命起り、紅衛兵旋風全国に拡大 昭41・12・3 文相剣木亨弘 昭42・11・15 ワシントンで日米共同声明発表（沖縄返還は明示せず小笠原は1年以内に返還） 昭42・11・25 文相灘尾弘吉 昭42・12・31 テレビ受信契約者二〇〇〇万人突破（普及率83%）</p>
昭和43・6・6	昭和43・7・11	<p>この年より大学における学園紛争おこる</p> <p>教頭26 第9回全国公立学校教頭会総会及研究協議会 昭42・8・10～12 岐阜市民会館、鶯谷女子高校で開催</p> <p>教頭27 全国公立学校教頭会臨時総会並びに研修大会（第1回） 昭43・2・4 東京都・国立教育会館大ホールで開催 会場に三〇〇〇名近くの会員を集め、「教頭職法制化」を要望する総決起大会の観があり、決意のほどを示す。</p> <p>教頭28 灘尾文相教頭法の提案理由説明 昭43・5・8 第58回国会 衆議院文教委員会で灘尾文相大臣より、学校教育法の一部改正（教頭法）の提案理由説明（審議未了）</p> <p>・教育課程審議会「中学校の教育課程の改善について」答申 文部省、「小学校学習指導要領」告示</p>	<p>昭43・6・6 小笠原返還式挙行</p>
昭和43・8・8	昭和43・8・10	<p>教頭29 第10回全国公立学校教頭会総会及研究協議会 昭43・8・8～10 高松市民会館、紫雲中学校で開催</p>	

1970	1969
<p>〳 45・1</p>	<p>〳 44・6・30</p> <p>〳 44・4・14</p> <p>昭 43・12・29</p> <p>〳 44・1・18</p>
<p>・各地の高校で紛争おこる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>教頭33 第11回全国公立学校教頭会総会及び研究協議会 昭44・8・5～7 新潟市県民会館で開催</p> </div> <p>・同和对策事業特別措置法公布</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>教頭32 佐藤首相に教頭職法制化を陳情 昭44・7・4 国会の総理大臣室において佐藤首相に面接陳情をして理解ある回答をうる。桃井会長、役員13名坂田文相にも面接陳情。 7・8 自由民主党国会議員と懇談会、教頭約一〇〇名参加</p> </div>	<p>・文部省、東京大学入学試験中止を決定</p> <p>・東京大学、機動隊の出勤により安田講堂等の封鎖解除、翌日解除完了</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>教頭30 全国公立学校教頭会臨時総会並びに研修大会 (第2回) 昭44・2・8 東京都・国立教育会館大ホール 前年に引きつづき「教頭職の法律化」達成の決起集会。 地区代表が当該地区選出議員をはじめ、要路に「法改正促進」の陳情をした。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>教頭31 再度教頭法提案 昭44・2・16 第61回国会で教頭法提案（審議未了廃案）</p> </div> <p>文部省、「中学校学習指導要領」告示</p> <p>・中教審「今後における学校教育の総合的な拡充整備のための基本的施策について」の中間報告を提出</p>
<p>〳 44・7・20 アポロ11号、人類初の月着陸に成功</p>	<p>〳 44・5・26 東名高速道路開通</p> <p>昭 43・11・30 文相坂田道太</p>

西暦 年月日	1971	教育の歩み（教頭の歩み）	社会事象
昭45・6・28	<ul style="list-style-type: none"> ・日本教職員連盟（日教連） 結成 	<p>教頭34 全国公立学校教頭会臨時総会並びに研修大会（第3回）</p> <p>昭45・3・9 東京都・国立教育会館大ホールで開催 「学校教育法第二十八条を改正して、教頭職を明確に法律上に位置づける」要望達成を期しての総決起集会となる。10日に、地区代表・本部役員等五十数名と文教関係国会議員十数名で「教頭職法制化」について懇談</p>	<p>昭45・7・14閣議「日本」の呼称を「ニッポン」に統一と了解</p>
昭46・1・20	<ul style="list-style-type: none"> ・文部省、小・中学校学習指導要領の一部改正告示（公害教育方針の明確化） 	<p>教頭35 第12回全国公立学校教頭会総会及研究協議会</p> <p>昭45・8・9～11 札幌市市民会館ホールで開催</p>	<p>昭46・5・27児童手当法公布</p> <p>昭46・6・17沖繩返還協定調印</p> <p>昭46・7・5文相高見三郎</p> <p>昭46・12・18ワシントンの10ヶ国蔵相会議多国間通貨調整に決着</p> <p>1ドル＝三〇八円金価格1オン</p> <p>ス＝35ドルなど決定</p>
昭46・5・28	<ul style="list-style-type: none"> ・教育職員の給与特別措置法公布 	<p>教頭36 全国公立学校教頭会臨時総会並びに研修大会（第4回）</p> <p>昭46・2・18 東京都・国立教育会館大ホールで開催 「法改正達成」と墨書した白たすきに願いをこめた総決起大会となった。</p>	
昭46・6・11	<ul style="list-style-type: none"> 中教審「今後における学校教育の総合的な拡充整備のための基本的施策について」答申 	<p>教頭37 第13回全国公立学校教頭会総会及研究協議会</p> <p>昭46・8・8～10 大津市・滋賀会館で開催</p>	
昭46・7・12	<ul style="list-style-type: none"> ・国会および公立の義務教育諸学校等の教育職員の給与等に関する特別措置法」施行について通知 		

1973		1972
<p>〳 48・3・23</p> <p>・政府、教頭職の法制化法案の国会提出を閣議決定</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>教頭42 四度目教頭法継続審議となる 昭48・6・29 第71回国会において四度目の提案となったが、</p> </div>	<p>〳 47・10・27</p> <p>〳 47・10・5</p> <p>・文部省、学制百年記念式典開催 ・文部省、学習指導要領の弾力的運用についての通達</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>教頭41 研修大会ならびに教頭職法律制定決起大会 (第6回) 昭48・2・5 東京都・国立教育会館大ホール 全国より一七〇〇余名の代表全員を集めて開催、法改正への熱意と願望が漲っていた。</p> </div>	<p>昭47・1・1</p> <p>・教職員給与特別措置法施行</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>教頭38 全国公立学校教頭会臨時総会並びに研修大会 (第5回) 昭47・2・16 東京都・国立教育会館大ホールで開催 会員代表一、七〇〇名、文部省、教委、小・中学校長代表、衆参両議員一〇名と大会はじまって以来の多数の来賓を迎えて法改正への意気をあげた。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>教頭39 三たび教頭法案提出 昭47・5・31 第68回国会で教頭法提案（審議未了廃案）</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>教頭40 第14回国公立学校教頭会総会及研究協議会 昭47・8・21～23 広島市民会館で開催 総会で、会則を全面改正し、次年度から総会と研究協議会を分離して実施することとなった。</p> </div>
<p>〳 48・1・22</p> <p>印</p>	<p>〳 47・12・22</p> <p>〳 47・12・22</p>	<p>昭47・2・3 第11回冬期オリンピック、札幌で開催</p> <p>〳 47・2・19 連合赤軍、軽井沢の浅間山荘に人質とともに立てこもる</p> <p>〳 47・2・28 警察側、強行救出作戦により人質を救出。犯人逮捕</p> <p>〳 47・3・15 山陽新幹線、新大阪・岡山間開通</p> <p>〳 47・3・15 沖繩返還協定の批准書を交換</p> <p>〳 47・5・15 沖繩の日本返還</p> <p>〳 47・7・7 田中角栄内閣発足文相稲葉修</p>

西暦 年月日	1974
<p>教育の歩み（教頭の歩み）</p> <p>漸く一歩前進して継続審議となり、次期国会へ期待をつないだ。</p>	<p>昭49・2・25 学校教育の水準の維持向上のための義務教育諸学校の教育職員の人材確保に関する特別措置法（人確法）公布</p> <p>※この人確法の成立により教員の給与は大幅に改善されることとなる。</p> <p>※この人確法の一部改正公布（教頭法成立）</p> <p>昭49・6・1 学校教育法の一部改正公布（教頭法成立）</p> <p>※第72回国会においては、衆議院文教委員会が年3回の審議が行われ三月一日、自民、民社両党の共同修正の上可決され、三月一九日衆議院本会議で可決された。参議院では、文教委員会が6回に及ぶ審議が行われ、五月二十二日可決され、五月二十七日の参議院本会議で異例の補充質問を行った上、記名投票により賛成多数で可決成立した。ここに教頭会の長年の要望が実ったのである。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p>教頭43 第15回全国公立学校教頭会総会</p> <p>昭48・6・2～3 東京都、国立教育会館及び都市センターホール</p> <p>第1日 理事会 新会則の選挙規定で役員、常任理事等選出</p> <p>第2日 総会 理事会審議の案件を採択承認される。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p>教頭44 第15回全国公立学校教頭会研究協議大会</p> <p>昭48・8・8～10 沖縄県・コザ市（現沖縄市）で開催</p> <p>復帰後の沖縄大会で、全国より一八〇〇余名参加</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>教頭45 全国公立学校教頭会研修大会ならびに教頭職法律制定決起大会（第7回）</p> <p>昭49・2・4 東京都・国立教育会館大ホールで開催</p> <p>目下継続審議となっている「教頭職法制化に関する法案」の国会での可決成立を期しての一大決起集会となる。</p> </div>
<p>社会事象</p>	<p>昭48・8・8 金大中誘拐事件発生</p> <p>ク48・10・1 石油危機が叫ばれ日本の経済が混乱</p> <p>ク49・1・11 日銀発表の12月卸売物価が前年同月比29%上昇</p> <p>ク49・7・16 東京地裁家永第1次教科書検定訴訟に判決</p> <p>ク49・8・8 ニクソン大統領辞任、フォード大統領就任</p> <p>ク49・10・18 田中首相の金脈が問題化</p>

1975

教頭46 学校教育法第二十八条に教頭を規定

第二十八条 小学校には、校長、教頭、教諭、養護教諭及び事務職員を置かなければならない。ただし、特別の事情のあるときは、教頭または事務職員を置かないことができる。

③ 校長は、校務をつかさどり、所属職員を監督する。

④ 教頭は、校長を助け、校務を整理し、及び必要に応じ児童の教育をつかさどる。

⑤ 教頭は、校長に事故があるときはその職務を代理し、校長が欠けたときはその職務を行なう。この場合において教頭が二人以上あるときは、あらかじめ校長が定めた順序で、その職務を代理し、又は行なう。

⑥ 教諭は、児童の教育をつかさどる。

教頭47 第16回全国公立学校教頭会総会

昭49・6・8～9 東京都・虎ノ門ニッショーホールで開催

教頭48 第16回全国公立学校教頭会研究協議大会

昭49・8・3～5 岩手県盛岡市県民会館で開催

教頭49 全国公立学校教頭会臨時大会(第8回)

昭50・2・10～11 東京都・国立教育会館で開催
 教頭法施行後をはじめの臨時大会。「学校教育法一部改正に伴う教頭の職務」を主題に、一、二〇〇名参加

教頭50 第17回全国公立学校教頭会定期総会

昭50・6・8～9 虎ノ門ニッショーホールで開催
 教頭法成立一年目の総会で、会員は教頭の職務内容の確立について意識がたかまり、全国教頭会に寄せる期待も大きく盛り

昭49・11・11 文相三原朝雄
 文相永井道雄

昭50・3・10 山陽新幹線岡山から
 博多まで開通

1977	昭51・12・18 〳52・7・23	<p style="text-align: right;">新事務所 港区愛宕一―六―七愛宕山弁護士ビル4F</p> <p style="text-align: right;">教育課程審議会「教育課程の改善について」答申 ※小・中の一貫性、ゆとりと充実、教科書のあり方、教員養成のあり方、入試改善、家庭教育、社会教育と広範囲にわたって答申がなされた。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>教頭56 全国公立学校教頭会中央研修大会(第1回) 昭和52・2・5～6 東京都・国立教育会館虎ノ門ホールで開催 従来、教頭法制化達成を目的に法改正活動を展開してきた(総決起大会ともいべき臨時大会を毎年2月に実施)。 教頭法成立をみたので、これを本年より中央研修大会に改め、研修と要請の二面を含む大会とした。</p> </div> <p style="text-align: center;">・ 文部省、小・中学校の新学期指導要領案を発表</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>教頭57 第19回全国公立学校教頭会定期総会 昭52・6・12 東京都順心女子学園で開催 「研究の基本目標、方針および領域課題」を設定。8年間の継続研究体制を決める。</p> </div> <p style="text-align: center;">文部省「小学校学習指導要領」「中学校学習指導要領」告示 ※日本における高度成長のひずみの反省から主として、①人間性豊かな児童・生徒の育成(ゆとりありしかも充実した学校) ②基礎的的基本的内容の充実をねらいとして改訂。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>教頭58 全国教頭一人一要求「くさぐさのねがい」発行 昭52・9 昭和50年度全国教頭会として、教頭の意識と教頭職の問題点について、「一人一要求」と題して悉皆調査を行った。回収された一五、〇〇〇枚を調査部で整理し「くさぐさのねがい」にまとめて全教頭及び関係方面に配布し、多大の反響を呼</p> </div>	昭51・12・24 福田越夫内閣発足 文相海部俊樹 〳52・1・1 二百海湮時代にはいる 〳52・1・20 カーター米大統領に就任
------	-----------------------	--	--

1979	
<p>〳 54 ・ 7 ・ 11</p>	<p>〳 54 ・ 3 ・ 1</p>
<p>・内藤文相、人事院総裁に対し、教員等の給与改善の要望書を提出</p>	<p>・警視庁、少年自殺調べ発表。77年七八四人、78年八六六人</p>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>教頭67 全国公立学校教頭会 第21回定期総会 昭54・6・23 東京都・国立教育会館虎ノ門ホールで開催 勝呂会長「地方の時代」を強調、「全教頭通信」を全員配布とする。</p> </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>教頭66 全国公立学校教頭会結成20周年記念誌「教頭」刊行 昭54・5・19 祝賀会</p> </div>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>教頭65 内閣官房長官に陳情 昭54・2・25 首相官邸の官房長官室において、田中六助長官に面接、「教頭ワケ外配置」について菅井会長より陳情</p> </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>教頭64 全国公立学校教頭会 第3回中央研修大会 昭54・2・17 東京都・国立教育会館虎ノ門ホールで開催 標準法改正推進のための決起研修大会であった。</p> </div>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>教頭63 第20回全国公立学校教頭会研究大会 昭53・8・2～4 北海道札幌市・厚生年金会館で開催</p> </div>	<p>・東京都・中野区「教育委員準公選制度条例」可決</p>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>昭53・6・19 東京都ニッショーホールで開催 20周年を迎えた年の総会として、記念事業に関する件が中心となった。前日の記念式典、祝賀会もさることながら、後々に残る記念誌発刊が最重要事業であることを確認。</p> </div>	<p>昭53・8・12 北京で日中平和友好条約に調印 昭53・12・7 大平正芳内閣成立 文相内藤誉三郎 〳 54・2・5 ホメイニ師亡命先バリより帰国、イラン暫定政府設立</p>

西暦 年月日	1980 昭54・8・22 昭55・4・25	教育の歩み（教頭の歩み）	社会事象
<p>教育の歩み（教頭の歩み）</p> <p>教頭68 第21回全国公立学校教頭会研究大会 昭54・8・2～4 神戸市神戸文化ホールで開催</p> <p>教頭69 大平首相に陳情 昭54・8・17 首相官邸において大平首相に面接、教頭定数の法制化を陳情した（本部役員と香川県代表）。</p> <p>教頭70 全国公立学校教頭会 第4回中央研修大会 昭55・2・1 東京都・国立教育会館虎ノ門ホールで開催 教頭の職務研究と、標準法改正についての研究を深めた。</p> <p>教頭71 全国公立学校教頭会 単位教頭会研究部長会の新設 昭55・2・1～3 東京都・都市センターホテルで合宿 全国統一研究課題の徹底。教頭の職務内容の明確化、各地の研究の交流を図って、単位教頭会の研究部長が一堂に会して討議を重ねた。爾来この部長会は継続されている。</p> <p>教頭72 全国公立学校教頭会 第22回定期総会 昭55・6・28 東京都・九段会館で開催 相田会長「信頼される学校づくり」を強調</p> <p>教頭73 第22回全国公立学校教頭会研究大会 昭55・8・4～6 岡山市・岡山市民会館で開催</p>	<p>・文部省が9か年で小・中学校の40人学級実現の計画案をまとめる。</p> <p>「公立義務教育諸学校の学級編成及び教職員定数の標準に関する法律」の第5次改正案成立 ※40人学級の実現とともに教頭定数の法定制が実現。</p>	<p>昭54・9・7 社公民三党が内閣不信任案を提出、政府が国会解散</p> <p>昭54・11・19 文相谷垣専一</p> <p>昭55・5・16 国会が大平内閣不信任案を可決、政府国会を解散</p> <p>昭55・6・12 太平首相過労で倒れ、入院先の虎ノ門病院で死去、急性心不全</p> <p>昭55・7・19 鈴木善幸内閣成立 文相田中竜夫</p> <p>昭55・7・19 モスクワオリンピック、米・日・独不参加のまま開</p>	

1982	1981
<p>昭56・6・11</p> <p>・放送大学学園法、同法施行令。同法施行に伴う関係政令の整備に関する政令公布</p> <p>教頭78 全国公立学校教頭会 第6回中央研修大会 昭57・2・6 東京都・国立教育会館虎ノ門ホールで開催 へき地・小規模校教頭の研究発表等 兵庫教育大学副学長・上寺久雄氏の「教頭よ、教頭であれ」と題する記念講演があった。</p>	<p>昭56・6・11</p> <p>・東京高裁、麴町中学校の内申書に「全共闘」と書かれ高校入試不合格となり、また卒業式に出席を拒否された事件に対し、内申書の記載は学校の裁量権を逸脱したものでないと原告の訴えを退ける。卒業式の出席拒否は不当として学校側に10万円の損害賠償を判決。原告が発表された。</p> <p>教頭74 W C O T P 第28回総会へ代議員派遣 昭55・8・4～9 ブラジル・ブラジリヤ市 W C O T P は世界教職員団体連合の略称。日本では日教組と日本教育連盟が会員となっている。教頭会は52年に加入したので、はじめて代議員として組織部長の米田健治氏が参加</p> <p>教頭75 全国公立学校教頭会 第5回中央研修大会 昭56・1・28 東京都・国立教育会館虎ノ門ホールで開催 へき地・小規模校における勤務の実態と、調査部の基本調査の考察が発表された。</p> <p>教頭76 全国公立学校教頭会 第23回定期総会 昭56・6・8 東京都・国立教育会館虎ノ門ホールで開催 相田会長「組織を強化し、教育の推進力に」と強調</p> <p>教頭77 第23回全国公立学校教頭会研究大会 昭56・8・6～8 鹿児島市・県文化センターで開催</p>
<p>昭56・11・30 文相小川平二 昭57・4・2 アルゼンチンが英領 フォークランド諸島を武力で占領、戦争となる</p>	<p>昭55・9・21 イラン・イラク全面戦争に入る 昭55・11・4 米大統領選で共和党レーガン当選</p> <p>幕、参加81か国</p>

西暦 年月日	1983 57・10・13 57・7・12	教育の歩み（教頭の歩み）	社会事象
		<p>告側不服として上告</p> <p>・文部省、人事院勧告前に「教員等の給与改善について」要望書を政府に提出</p> <p>・文部省、教職公務員の定年制について教育委員会に通知</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 15%;"> <p>教頭85 訪中教育視察団 中華人民共和国、東北地区見学 昭58・8・8～19 北京、ハルビン、瀋陽、大連</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 15%;"> <p>教頭84 第25回全国公立学校教頭会研究大会 昭58・7・26～28 伊勢市・三重県営体育館他で開催</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 15%;"> <p>教頭83 全国公立学校教頭会 第25回定期総会 昭58・6・10 東京都・国立教育会館虎ノ門ホールで開催</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 15%;"> <p>教頭82 全国公立学校教頭会 第7回中央研修大会 昭58・2・19 東京都・国立教育会館虎ノ門ホールで開催</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 15%;"> <p>教頭81 「教頭の職務」改訂委員会発足 昭57・9・10 国立教育研究所 牧 昌見氏の指導をうけ58年度末を目標に特別委員会を構成して着手</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 15%;"> <p>教頭80 第24回全国公立学校教頭会研究大会 昭57・8・4～6 仙台市・県スポーツセンターで開催</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 15%;"> <p>教頭79 全国公立学校教頭会 第24回定期総会 昭57・6・19 東京都・国立教育会館虎ノ門ホールで開催</p> </div> </div>	<p>昭57・6・14 英国軍フォークランド諸島を奪回73日振り停戦</p> <p>昭57・6・15 国会で日本学校健康会法が成立</p> <p>昭57・6・23 11年間かけた東北新幹線開通、大宮―盛岡</p>
			<p>昭58・8・21 フィリピン、アキノ元上院議員が亡命先の米国から帰国、飛行機から降りたとたん射殺される</p> <p>昭58・11・9～11 レーガン米国大統領領国賓として来日、中曽根首</p>

1985		1984	
〳 60・4・26	〳 60・2・2	〳 59・4・24	〳 59・4・23
<ul style="list-style-type: none"> ・全日本中学校長会が、臨教審に第二次の提言、六年制中学校構想に慎重な配慮を求める。 ・文部省、学校教師への一般社会人誘致を検討するために「教員資格認定調査研究協力者会議」を設置 	<ul style="list-style-type: none"> ・東京都教委が過去4年間に児童・生徒が水増しされて報告された小・中学校の学級数四一四で、校長、教頭ら五二六人を懲戒処分 	<ul style="list-style-type: none"> ・税金を監視する会」が、東京都で教頭を一日校長に任命し、退職金を増額して支払った「82年度29人約一六〇〇万円」のは不当だと返還訴訟を起こす ・文部省、問題児童・生徒の「公立の小学校及び中学校における出席停止の措置について」通知 	<ul style="list-style-type: none"> ・文部省、小学校の「いじめ」についての指導資料を発行 ・教育公務員特例法施行令（政令）、同文部省令の一部改正公布（教職員の定年制への対応）
<p>教頭90 全国公立学校教頭会 第9回中央研修大会 昭60・2・23 東京都・国立教育会館虎ノ門ホールで開催</p>	<p>教頭89 『教頭の職務』改訂版 刊行 昭57・10・30 教頭職務の明確化を旨とした改訂版を刊行 理論編・実践編・資料編の三つの内容で構成される。</p>	<p>教頭86 全国公立学校教頭会 第8回中央研修大会 昭59・2・25 東京都・国立教育会館虎ノ門ホールで開催</p>	<p>教頭87 全国公立学校教頭会 第26回定期総会 昭59・6・15 東京都国立教育会館虎ノ門ホールで開催</p>
<p>昭59・8・9～11 徳島市市立体育館で開催</p>	<p>教頭88 第26回全国公立学校教頭会研究大会 昭59・8・9～11 徳島市市立体育館で開催</p>	<p>昭58・12・26 文相森喜朗 を呼びかける</p>	<p>昭59・1・8 日本初の実用衛星が打ち上げられ「ゆり」と命名</p>
<p>〳 60・5・1 東海銀行が「現代っ</p>	<p>〳 60・3・11 ソ連、ゴルバチョフを書記長に選出</p>	<p>〳 59・8・17 東京での熱帯夜18日続き、日本列島が猛暑に包まれる</p>	<p>〳 59・4・27 83年度の日本の貿易収支が約三四六億ドルの黒字とわかる</p>
	<p>〳 59・11・1 文相松永光</p>	<p>相と会談。11日国会で「自由世界の大国」としての日本の責務を呼びかける</p>	<p>59・4・27 83年度の日本の貿易収支が約三四六億ドルの黒字とわかる</p>

西暦 年月日	1986
教育の歩み（教頭の歩み）	<p>昭60・8・20 文部省、「学校施設における木材使用の促進について」各県教育長に通知</p> <p>昭60・9・5 文部省、「特別活動の実施状況に関する調査」結果を発表</p> <p>昭60・11・6 学校の儀式における「君が代」「日の丸」の取り扱いが不徹底だとし、都道府県教委に適切な取り扱いをするよう通知</p> <p>昭60・11・29 東京都教委が、これまで慣習となっていた都立高校教員の週一日自宅研修制を86年度から廃止することを決める</p> <p>昭61・4・10 日本体育・学校健康センター法が参院本会議で可決成立</p> <p>昭61・2・22 教頭93 全国公立学校教頭会 第10回中央研修大会 昭61・2・22 東京都・国立教育会館虎ノ門ホールで開催 「今日の教育に期待されるもの」でシンポジウム</p> <p>昭61・6・14 教頭94 全国公立学校教頭会 第28回定期総会 昭61・6・14 東京都・国立教育会館虎ノ門ホールで開催</p> <p>昭61・6・22 教頭95 全国公立学校退職教頭会 設立総会 昭61・6・22 東京都・愛宕山東急インで設立総会を開き初代会長に柴三郎氏就任</p> <p>昭60・8・5～7 教頭92 第27回全国公立学校教頭会研究大会 昭60・8・5～7 東京都・ホテルパシフィックで開催 松永光文部大臣臨席</p> <p>昭60・6・8 教頭91 全国公立学校教頭会 第27回定期総会 昭60・6・8 東京都・国立教育会館虎ノ門ホールで開催</p>
社会事象	<p>昭60・5・17 子の持ち物調査の発表 パソコン・マイコンを持つ者、男子で7人に1人</p> <p>昭60・5・17 男女平等等を建て前とする男女雇用機会均等法が国会で可決、成立</p> <p>昭60・8・12 60・8・12 羽田発日本航空ジャンボジェット機が群馬県御巢鷹山山中に墜落、炎上死者五二人、生存者四人</p> <p>昭60・10・14 60・10・14 テレビAの女子中学生に対する、やらせリンチ事件が問題化、社長がテレビを通じて視聴者に陳謝</p> <p>昭60・12・28 60・12・28 文相海部俊樹を突破</p> <p>昭61・1・2 61・1・2 円急上昇二〇〇円台</p> <p>昭61・4・28 61・4・28 ソ連チェルノブイリ原子力発電所で大規模爆発事故</p> <p>昭61・4・29 61・4・29 天皇在位60年記念式典、国技館で開催</p> <p>昭61・7・22 61・7・22 文相藤尾正行</p> <p>昭61・9・9 61・9・9 文相塩川正十郎</p>

1988			1987		
〳 63・7・15	〳 63・5・25	〳 62・12・1	〳 62・1・31	〳 62・1・13	昭 61・12・18
<p>・「内申書訴訟」の上告審判決、最高裁で麹町中の元生徒日君の敗訴確定</p>			<p>・都道府県教育長協議会が教育改革に関する調査の結果を臨教審に提出。9月入学制、通学区制の廃止などに大部分の教委は反対</p> <p>・文部省、公私立高校の85年度中途退学状況調べを発表。中退者一万八三四人</p> <p>・文部省、学習塾への対応策通知「必要に応じ補習実施」を提起したのが目玉</p>		
<p>・初任者研修を制度化する教育公務員特例法・地教行政法改正案が参院本会議で可決成立</p>			<p>・文部省、中学生の国体参加を認めることを正式決定</p>		
<p>教頭101 全国公立学校教頭会 第30回定期総会 昭 63・6・18 東京都・国立教育会館虎ノ門ホールで開催</p>			<p>教頭96 第28回全国公立学校教頭会研究大会 昭 61・8・5～7 札幌市・真駒内アイスアリーナ他で開催</p>		
<p>教頭100 全国公立学校教頭会 第12回中央研修大会 昭 63・2・18 東京都・国立教育会館虎ノ門ホールで開催 64年度以降の全国共通課題が提案された。</p>			<p>教頭99 第29回全国公立学校教頭会研究大会 昭 62・8・3～5 京都市・国立国際会館で開催</p>		
<p>教頭98 全国公立学校教頭会 第29回定期総会 昭 62・6・13 東京都・国立教育会館虎ノ門ホールで開催</p>			<p>教頭97 全国公立学校教頭会 第11回中央研修大会 昭 62・2・21 東京都・国立教育会館虎ノ門ホールで開催</p>		
<p>昭 63・7・25 文部省、局長クラスで構成する「教員週休二日制」</p>			<p>昭 61・10・24 国鉄民営化案衆議院通過</p> <p>昭 61・11・15 伊豆大島三原山噴火、21日全島民一人人島外避難命令</p> <p>昭 61・12・19～22 島民帰島</p> <p>昭 62・4・1 国鉄民営化「JR」が発足。かつての三公社国営が民営となる</p> <p>昭 62・11・6 文相中島源太郎</p> <p>昭 63・1・21 佐賀県教組の一斉休暇闘争に対する処分を取り消しを求めた行政訴訟の上告審で、最高裁は処分は妥当との判決を言い渡す</p>		

西暦 年月日	1989	教育の歩み（教頭の歩み）	社会事象
昭63・11・9		<p>・高校定時制、通信制の修業年限を3年以上に短縮する学校教育法改正案成立</p> <p>・文部省、昭和62年度「児童・生徒の問題行動実態調査」を発表、登校拒否が小・中学校とも増えて、小学生五千二百八十六人、中学生三万七百二十五人。調査項目に加えられた41年度以降で小・中とも過去最高を記録</p> <p>・教員免許法改正案が参院本会議で可決成立</p> <p>・総理府、「家庭と地域の教育力に関する世論調査」を発表。63%が「家庭のしつけ・教育力低下」と回答</p>	<p>昭63・12・27 文相西岡武夫</p> <p>昭64・1・7 昭和天皇崩御</p> <p>皇太子明仁親王践祚</p> <p>平成と改元</p>
昭63・11・30		<p>教頭102 第30回全国公立学校教頭会研究大会</p> <p>昭63・8・3～5 松江市・総合体育館で開催</p>	<p>学校週五日制に関する省内連絡会議」を発足する</p>
平1・2・10		<p>平成 1989</p> <p>・文部省、新しい小・中・高校学習指導要領案と幼稚園教育要領案を公表。「自己教育力」「道徳教育」や「個性教育」などの柱が中心</p>	<p>平1・2・24 大喪の礼、新宿御苑で挙行。学校は休日</p>
平1・4・24		<p>教頭103 全国公立学校教頭会結成30周年記念式典</p> <p>平成1・2・17 東京都・キャピトル東急ホテルで開催</p> <p>政官界や全国からの旧役員等多数の来賓を迎え記念式典並びに懇親会を実施。昭和天皇崩御後のため自粛ムードの中で、今後の教育改革に取り組む意欲が漲っていた。</p> <p>教頭104 全国公立学校教頭会 第13回中央研修大会</p> <p>平1・2・18 東京都・国立教育会館虎ノ門ホールで開催</p> <p>・第14期中央教育審議会が第1回総会を開き発足</p> <p>教頭105 第31回全国公立学校教頭会定期総会</p> <p>平1・6・17 国立教育会館虎ノ門ホールで開催</p>	<p>平1・4・1 大型間接税「消費税」が導入される。</p> <p>平1・6・3 北京天安門事件</p> <p>平1・6・24 歌謡界の女王、美空ひばりさん死去。国民栄誉賞受</p>

1990	
<p>平1・7・23</p> <p>・第1回生涯学習フェスティバル開催（千葉市幕張）</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>教頭106 全国研究部長会 平1・7・6～8 東京青山会館で開催</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>教頭107 第31回全国公立学校教頭会研究大会 平1・8・3～5 長崎大会を開催</p> </div> <p>・全国公立学校教頭会で中国教育視察を実施</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>教頭108 全国要請推進部長会 平1・8・28～29 都市センター会議室で開催</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>教頭109 全国公立学校教頭会 第14回中央研修大会 平2・2・17 国立教育会館虎ノ門ホールで開催</p> </div> <p>・小・中・高等学校の移行措置が本格スタートし、道徳と特別活動は全面实施へ</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>教頭110 全国公立学校教頭会 第32回定期総会 平2・6・9 国立教育会館虎ノ門ホールで開催</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>教頭111 全国研究部長会 平2・7・12～14 東京青山会館で開催</p> </div> <p>・生涯学習振興法案が成立 ・全国公立学校教頭会で中国教育視察を実施</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>教頭112 第32回全国公立学校教頭会研究大会 平2・8・1～3 青森大会を開催</p> </div>	<p>賞</p> <p>平1・7・23 参議院議員選挙。土井たか子委員長率いる社会党圧勝。</p> <p>平1・8・10 海部俊樹内閣成立</p> <p>文相石橋一弥</p> <p>平1・8・25 米国の惑星探査機ボイジャー2号が、海王星に最接近</p> <p>平1・9・29 千代の富士29回目の優勝。国民栄誉賞受賞</p> <p>平1・10・18 サンフランシスコ大地震発生</p> <p>平2・2・18 衆議院総選挙が行われ、自民党が二八四議席を獲得。</p> <p>平2・4・1 大阪で「国際花と緑の博覧会」開幕</p> <p>平2・2・28 文相保利耕輔</p> <p>平2・6・9 テニス全仏オープンで、モニカ・セレス選手が優勝。最年少記録</p> <p>平2・6・29 天皇家次男礼宮文仁親王と川嶋紀子さんが御結婚</p> <p>平2・8・2 イラク軍がクウェートに侵攻。原油価格急騰など世界を巻きこむ事態に発展</p>

1991		西暦
		年月日
<p>平2・9・2</p> <p>・子供の権利条約が発効</p>	<p>平2・12・6</p> <p>・登校拒否は、「どの子にも起こる」 文部省の学校不応対策協力者会議が中間報告</p>	<p>平2・10・15 ソ連のゴルバチョフ大統領がノーベル平和賞受賞</p> <p>平2・10・3 東西のドイツが統一</p> <p>平2・11・12 天皇陛下「即位の礼」が、皇居・宮殿を中心に行われた。</p> <p>平2・12・2 秋山豊寛さん、ソ連のソユーズTM11号で宇宙へ。</p> <p>平2・12・29 文相井上裕</p> <p>平3・1・17 湾岸戦争勃発 2月28日の停戦まで激しい緊迫状態</p> <p>平3・3・9 西新宿に新都庁舎が落成</p> <p>平3・5・14 滋賀県・信楽高原鉄道で列車が正面衝突。死傷者五〇〇人の大惨事</p> <p>平3・6・3 雲仙・普賢岳で大規模な火砕流発生。多数の死傷者</p>
<p>平3・4・19</p> <p>・中央教育審議会「新しい時代に対応する教育の諸制度について」答申</p>	<p>教頭115 全国公立学校教頭会 第15回中央研修大会</p> <p>平3・2・16 国立教育会館虎ノ門ホールで開催</p>	
<p>平3・8・26～27 日本都市センターで開催</p> <p>教頭119 全国要請推進部長会</p>	<p>教頭116 全国公立学校教頭会 第33回定期総会</p> <p>平3・6・15 国立教育会館虎ノ門ホールで開催</p> <p>教頭会の法人化を提出</p>	
<p>平3・8・5～7 富山大会を開催</p> <p>テーマ「21世紀を目指す学校教育の推進と教頭のあり方」</p> <p>教頭118 第33回全国公立学校教頭会研究大会</p>	<p>教頭117 全国研究部長会</p> <p>平3・7・11～13 東京青山会館で開催 教頭会報発刊決める</p>	
<p>平2・8・27～28 都市センターで開催</p> <p>教頭113 全国要請推進部長会</p>	<p>教頭114 全国研究部長会</p> <p>平2・11・30～12・1 全共連ビルで開催</p>	

		1992		
平4・7・29	<p>・生涯学習審議会が「今後の社会の動向に対応した生涯学習の振興策」を文相に答申</p>	<p>平4・7・29</p>	<p>平3・12・19</p>	
	<p>・「通級学級に関する調査研究協力者会議」が、「通級を教育課程上の特別規定として認めること」などを内容とした最終報告を文部省に提出</p>	<p>平4・4・30</p>	<p>・学校週5日制について「社会の変化に対応した学校運営等に関する調査研究協力者会議」が中間まとめを公表</p>	
	<p>教頭123 全国研究部長会 平4・7・9～11 日本都市センターで開催 「第三期統一研究課題（4年次）と第四期統一研究課題（1年次）の研究」提案 講演「世界の教育改革とわが国の取り組み」 講師 文部省教育助成局教職員課長 田中壮一郎氏</p>	<p>教頭122 全国公立学校教頭会 第34回定期総会 平4・6・20 国立教育会館虎ノ門ホールで開催 記念講演「統合に向かうヨーロッパ」 講師 NHK解説委員 柏倉康夫氏</p>	<p>教頭121 全国公立学校教頭会 第16回中央研修大会 平4・2・15 国立教育会館虎ノ門ホールで開催 講演「変動期のアジア情勢について」 講師 NHK解説委員 饗庭孝典氏</p>	<p>記念講演「今問われる教頭の資質」 講師 筑波大学助教授 小島弘道氏</p> <p>教頭120 全国研究部長会 平3・11・29～30 全共連ビルで開催</p>
	<p>平4・7・25 夏季オリンピックがバルセロナで開催</p>	<p>平3・9・20 南極上空のオゾン層で三年連続大穴を観測</p>	<p>平3・12・21 ソ連邦が消滅 独立国家共同体発足</p>	
	<p>平3・11・5 宮沢喜一内閣成立 文相鳩山邦夫</p>	<p>平3・3・1 暴力団対策法施行</p>	<p>平3・3・1 暴力団対策法施行</p>	
	<p>平4・5・27 漫画「サザエさん」の原作者、長谷川町子さん死去</p>	<p>平4・4・29 白人警官の黒人暴行事件について無罪評決をめぐり、ロサンゼルスで暴動発生</p>	<p>平4・4・29 白人警官の黒人暴行事件について無罪評決をめぐり、ロサンゼルスで暴動発生</p>	
	<p>平4・6・15 国連平和維持活動（PKO）協力法案が成立。国際緊急援助隊のカンボジア派遣</p>	<p>平4・3・1 暴力団対策法施行</p>	<p>平4・3・1 暴力団対策法施行</p>	

西暦 年月日	1993	教育の歩み（教頭の歩み）	社会事象
4・8・28		<p>・高等学校教育改革推進会議が「高等学校入学者選抜の改善について」の中間のまとめを提出</p> <p>・月1回の学校週5日制度による土曜日休業が全国公立学校でスタート</p> <p>・初中局長「登校拒否問題への対応について」の通知を出し、取り組みの充実を求める。</p> <p>・文部省、学制120周年記念式典が開催（東京国立劇場）</p>	<p>平4・9・12 宇宙飛行士・毛利衛さんがスペースシャトル・エンデバーに搭乗</p> <p>4・10・23 日中国交正常化20周年を機に、天皇・皇后両陛下の中国ご訪問</p> <p>4・11・4 第42代アメリカ大統領にビル・クリントン氏が当選</p> <p>翌年1月に就任</p> <p>4・12・12 文相森山眞弓</p>
4・9・12		<p>教頭126 全国研究部長会</p> <p>平4・11・27～28 全共連ビル、日本都市センターで開催</p>	<p>5・1・27 曙が史上初の外国人横綱に</p> <p>5・2・26 ニューヨークの世界貿易センタービル地下で爆弾テロ</p> <p>5・5・15 日本プロサッカーリーグ、通称Jリーグが開幕</p> <p>5・7・12 M七・八の地震が発生。奥尻島を中心に大規模な被害発生</p> <p>5・8・9 細川護熙内閣成立</p>
4・8・28		<p>教頭125 全国要請推進部長会</p> <p>平4・8・24～25 日本都市センターで開催</p> <p>講演「当面する教育行政上の諸問題」</p> <p>講師 文部省 会計課長（前財務課長） 佐々木正峰氏</p>	
4・9・24		<p>教頭124 第34回全国公立学校教頭会研究大会</p> <p>平4・8・9～10 高知大会を開催</p> <p>テーマ「あたたかさたくましさを求めて」</p>	
4・9・24		<p>・平成元年度告示の中学校学習指導要領の全面実施</p>	
4・9・24		<p>教頭127 全国公立学校教頭会 第17回中央研修大会</p> <p>平5・2・13 国立教育会館虎ノ門ホールで開催</p> <p>講演「人間を育てるもの」 講師 作家 曾野綾子氏</p>	
5・6・29		<p>・教員の心の健康等に関する調査協力者会議で「教員の心の健康に関する問題について」審議のまとめを公表</p> <p>教頭128 全国公立学校教頭会 第35回定期総会</p>	

1994	平5・11・30	<p>・小・中学生の七二、〇〇〇人による登校拒否児童の初の実態調査結果のとりまとめと公表</p> <div data-bbox="1135 695 1256 1441" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>平5・7・3 国立教育会館虎ノ門ホールで開催 記念講演「新しい国際情勢の見方」 講師 元NHK解説委員・評論家 山室英男氏</p> </div> <div data-bbox="949 695 1106 1441" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>教頭129 全国研究部長会 平5・7・15～17 全共連ビル別館で開催 講演「これからの学校と教頭の役割」 講師 国立教育研究所 教育経営研究所長 牧昌見氏</p> </div> <div data-bbox="692 695 921 1441" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>教頭130 第35回全国公立学校教頭会研究大会 平5・8・3～5 新潟大会を開催 講演「脳のしくみに思うこと」 講師 新潟大学脳研究所教授・国際神経病理学会副会長 生田房弘氏 シンポジウム「自己教育力を育てる」</p> </div> <div data-bbox="506 695 664 1441" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>教頭131 全国要請推進部長会 平5・8・23～24 全共連ビルで開催 講演「要請活動の現状と当面の課題」 講師 東京都・全国管理職員団体協議会会長 福山光春氏</p> </div> <div data-bbox="321 695 478 1441" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>教頭132 全国研究部長会 平5・11・26～27 全共連ビル・中会議室で開催 講演「社会の変化と教育改革」 講師 文部省教育助成局教職員課長 杉浦哲郎氏</p> </div> <div data-bbox="185 695 235 1441" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>教頭133 全国公立学校教頭会 第18回中央研修大会</p> </div>	<p>文相赤松良子 平5・8・13第4回世界陸上選手権が、シュツットガルトで開幕 女子マラソンで浅利純子選手が金メダル 5・9・13ホワイトハウスでイ スラエルとパレスチナ解放機構 の「暫定自治合意文書調印式」</p>
------	----------	--	---

西暦	年月日	教育の歩み（教頭の歩み）	社会事象
平6・3・15 ㄥ6・5・22	ㄥ6・7・31	<p>・文部省、教育用コンピュータ新整備6カ年計画を発表、小学校22台、中学校42台設置 ・児童権利条約が発効</p> <p>平6・2・19 国立教育会館虎ノ門ホールで開催</p> <p>教頭134 全国公立学校教頭会 第36回定期総会 平6・6・18 国立教育会館虎ノ門ホールで開催 記念講演「教育情報の公開・開示をめぐる」 講師 筑波大学教授・学校教育部長 高倉翔氏</p> <p>教頭135 全国研究部長会 平6・7・7ㄥ8 全共連ビル中央会議室で開催</p> <p>・総務庁「青少年と映像メディアに関する調査研究」の報告書を発表</p> <p>教頭136 第36回全国公立学校教頭会研究大会 平6・8・4ㄥ6 函館大会を開催 テーマ「21世紀を目指す学校教育の創造と教育のあり方」 サブテーマ「豊かな心を持ち、ともに生きる子どもの育成」 講演「釧路湿原とタンチョウ」 講師 釧路市丹頂鶴自然公園園長 高橋良治氏 シンポジウム「豊かな心を持ち、たくましく生きる子どもの育成」</p> <p>教頭137 全国要請推進部長会 平6・8・22ㄥ23 日本都市センターで開催 講演「要請活動の現状と当面の課題」 講師 東京都・全国管理職団体協議会会長 小林重昭氏</p>	<p>平6・2・4初の純国産大型ロケット「H2」の打ち上げに成功</p> <p>ㄥ6・4・26エアバスが名古屋屋空港で着陸に失敗、多数の死傷者</p> <p>ㄥ6・4・28羽田孜内閣成立</p> <p>文相赤松良子</p> <p>ㄥ6・5・1F1レーサー、アイルトン・セナ選手がレース中の事故で死亡</p> <p>ㄥ6・5・9南アフリカ共和国で全人種参加による州議会選挙黒人初の大統領にネルソン・マンデラ委員長が就任</p> <p>ㄥ6・6・30村山富市内閣成立</p> <p>文相与謝野馨</p> <p>ㄥ6・7・8朝鮮民主主義人民共和国の金日成首席死去</p> <p>ㄥ6・7・8日本人女性初の宇宙飛行士・向井千秋さん宇宙へ</p> <p>ㄥ6・7・17「シューメーカー・レビー第9すい星」が木星に衝突</p> <p>ㄥ6・8・3東京で気温三九一度を記録。各地で最高気温の更新が相ついだ</p> <p>ㄥ6・9・4「関西新空港」が開港</p>

1995	
<p>平6・11・24</p> <p>・月2回の学校週5日制を来年4月から実施を決定 ・学校週5日制の月2回の実施にともない、学校教育法施行規則の一部改正</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>教頭138 全国公立学校教頭会 第19回中央研修大会 平6・10・29 国立教育会館虎ノ門ホールで開催</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>教頭139 全国研究部長会 平6・11・25～26 全共連ビル中央会議室で開催</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>教頭140 全国公立学校教頭会 第3回理事会 平7・2・18 日本都市センター第2講堂で開催 「阪神大震災について報告」(兵庫県) 報告者 県教頭協議会会長 松尾達夫氏 小学校教頭会長 秋山克彦氏 中学校教頭会長 山本秋利氏</p> </div> <p>・文部省は第15回中央教育審議会をスタートさせ、「21世紀を展望した我が国の教育の在り方について」を諮問</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>教頭141 全国公立学校教頭会 第37回定期総会 平7・7・4 国立教育会館虎ノ門ホールで開催 講演「学校教育の今日的課題」 講師 元初等中等局長・国立教育研究所長 菱村幸彦氏</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>教頭142 全国研究部長会 平7・7・13～14 フロラシオン青山で開催</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>教頭143 第37回全国公立学校教頭会研究大会 平7・8・3～5 奈良大会を開催 講演「日本の心」 講師 薬師寺管主 高田好胤氏</p> </div>	<p>平6・11・10</p> <p>平6・10・2 第12回アジア競技大会が広島で開催 平6・10・13 大江健三郎氏が、ノーベル文学賞受賞</p> <p>平7・1・17 阪神大震災が発生し、三、八七〇校の学校が被災した 平7・2・13 野茂英雄が大リーグのドジャースに入団し、活躍 平7・3・18 気象衛星(ひまわり)5号と無人宇宙実験室を打ち上げ 平7・3・20 地下鉄サリン事件で7人が死亡 平7・4 円高すすむ。1ドル＝79円75銭まで買われた</p>

西暦 年月日	1996
<p>教育の歩み（教頭の歩み）</p> <p>シンポジウム 豊かな心をもち、たくましく生きる子どもの育成</p>	<p>平7・12・15</p> <p>文部省が都道府県・指定都市教育長を緊急に招集。会議を開きいじめ根絶運動の展開を指示。「いじめの問題への取り組み徹底について」と題し、いじめへの取り組みの徹底を徹底発表</p> <p>・奥田文相がいじめで「かけがえのない子どもの命を守るために」と題する緊急アピールを公表</p> <p>・文部省に「いじめ問題対策本部」を設置</p> <p>教頭146 全国公立学校教頭会 第20回中央研修大会 平8・2・16 国立会館虎ノ門ホールで開催 講演「歓ぶことと悲しむこと」 講師 作家 五木寛之氏</p> <p>教頭147 全国公立学校教頭会 第38回定期総会 平8・6・28 国立教育会館虎ノ門ホールで開催</p> <p>生涯学習審議会、「地域における生涯学習機会の充実方策」を答申。大学生のボランティアに休学制度を活用するよう提言</p> <p>・文部省、いじめに関する大規模アンケート調査を発表。信頼関係の欠如など問題点を浮き彫り</p>
<p>社会事象</p>	<p>平7・8・23～9・3 第18回ユニバーシアード福岡大会が開幕</p> <p>平7・8・8 文相島村宜伸</p> <p>平7・9・5 仏、ムルロア環礁で核実験を強行</p> <p>平7・11・4 ノーベル平和賞受賞者のイスラエルのラビン首相が暗殺された</p> <p>平8・1・11 橋本龍太郎内閣成立</p> <p>平8・1・11 若田光一さんら6人がエンデバーで宇宙へ</p> <p>平8・2・10 国道二二九号線豊浜トンネルで崩落事故</p> <p>平8・4・1 沖縄米軍基地の普天間飛行場の全面返還決定</p> <p>平8・4・29 モンゴルで大規模草原火災焼失面積約8万平方キロ</p>

<p>平8・8・16 文8・8・19</p>	<p>・文部省、〇―157食中毒は全国に広がり、対策通知を出すなど対応が本格化 ・中教審、第一次答申を文相に提出。教育の質的転換の方向を指示した上、完全学校週5日制への移行と学習指導要領の趣旨改訂点を提言</p>	<p>平8・7・19 第26回夏季オリンピックがアトランタで開幕 文8・8・4 俳優渥美清氏死去 民栄賞授与（男はつらいよ主演） 文8・8・28 米国皇太子夫妻離婚 チャールズ皇太子とダイアナ妃の離婚が正式成立</p>
<p>平8・11・27</p>	<p>・教育課程審議会が発足し、文相が小中学校を一括して学習指導要領改訂を諮問 ・文部省、中・高校生の運動部活動調査を発表。「部活漬け」の実態が浮かぶ</p>	<p>平8・9・17 米大リーグドジャースの野茂ノーヒットノーラン達成 文8・10・20 小選挙区比例代表による総選挙が行われ、自民党が二二九議席を確保</p>
<p>平8・8・26</p>	<p>・文部省、いじめの総合対策を通知</p>	<p>平8・8・19 全共連ビルで開催 講演「教頭の職務の明確化と要請活動の課題」 講師 東京都・全国管理職員団体協議会会長 小宮誠氏</p>
<p>平8・8・16</p>	<p>・文部省、〇―157食中毒は全国に広がり、対策通知を出すなど対応が本格化 ・中教審、第一次答申を文相に提出。教育の質的転換の方向を指示した上、完全学校週5日制への移行と学習指導要領の趣旨改訂点を提言</p>	<p>平8・8・7 山口大会を開催 講演「映画をつくる」 講師 映画監督 山田洋次氏 シンポジウム 豊かさと創造を求めて</p>
<p>平8・8・16</p>	<p>・文部省、〇―157食中毒は全国に広がり、対策通知を出すなど対応が本格化 ・中教審、第一次答申を文相に提出。教育の質的転換の方向を指示した上、完全学校週5日制への移行と学習指導要領の趣旨改訂点を提言</p>	<p>平8・7・11 12 ホテルフロラシオン青山で開催 記念講演「教育へのコンピュータ利用の変遷と今後の展望」 講師 文部省初等中等教育局視学官 岩本宗治氏</p>
<p>平8・8・16</p>	<p>・文部省、〇―157食中毒は全国に広がり、対策通知を出すなど対応が本格化 ・中教審、第一次答申を文相に提出。教育の質的転換の方向を指示した上、完全学校週5日制への移行と学習指導要領の趣旨改訂点を提言</p>	<p>平8・8・7 9 山口大会を開催 講演「映画をつくる」 講師 映画監督 山田洋次氏 シンポジウム 豊かさと創造を求めて</p>
<p>平8・8・16</p>	<p>・文部省、〇―157食中毒は全国に広がり、対策通知を出すなど対応が本格化 ・中教審、第一次答申を文相に提出。教育の質的転換の方向を指示した上、完全学校週5日制への移行と学習指導要領の趣旨改訂点を提言</p>	<p>平8・7・11 12 ホテルフロラシオン青山で開催 記念講演「教育へのコンピュータ利用の変遷と今後の展望」 講師 文部省初等中等教育局視学官 岩本宗治氏</p>
<p>平8・8・16</p>	<p>・文部省、〇―157食中毒は全国に広がり、対策通知を出すなど対応が本格化 ・中教審、第一次答申を文相に提出。教育の質的転換の方向を指示した上、完全学校週5日制への移行と学習指導要領の趣旨改訂点を提言</p>	<p>平8・7・11 12 ホテルフロラシオン青山で開催 記念講演「教育へのコンピュータ利用の変遷と今後の展望」 講師 文部省初等中等教育局視学官 岩本宗治氏</p>

西暦 年月日	1997 平9・2・24 平9・4・24 平9・6・30	<p>教育の歩み（教頭の歩み）</p> <p>・文相、「教育改革プログラム」を首相に報告し、完全5日制を二〇〇三年度から実施と明示</p> <p>教頭152 全国公立学校教頭会 第21回中央研修大会 平9・2・14 国立教育会館虎ノ門ホールで開催 講演「日本の教育―その過去と未来―」 講師 哲学者 梅原猛氏</p> <p>・文部省、不登校生徒を対象に中学校卒業程度認定試験を弾力化するため、学校教育法施行規則を改正</p> <p>教頭153 全国公立学校教頭会 第39回定期総会 平9・6・18 国立教育会館虎ノ門ホールで開催 記念講演「21世紀を展望した教育と学校」 講師 東京家政学院大学長（前お茶の水女子大学長） 河野繁男氏</p> <p>・中教審、中高一貫など盛った「審議のまとめ（その2）」を公表</p> <p>教頭154 全国研究部長会 平9・7・3～4 三井ガーデンホテル蒲田で開催</p> <p>教頭155 第39回全国公立学校教頭会研究大会 平9・8・4～6 福岡大会を開催 講演 福岡と博多・二都物語 「元氣じるし」の由来 講師 博多町人文化連盟 常任理事 江頭光氏 シンポジウム 広い視野と広い心を持ち、たくましく生きる 子どもの育成</p> <p>教頭156 全国要請推進部長会</p>	社会事象
平9・2・19 中国の最高実力者 鄧小平氏死去92歳	<p>平9・2・19 中国の最高実力者 鄧小平氏死去92歳</p> <p>平9・3・22 秋田新幹線開業</p> <p>平9・4・1 消費税5%に引き上げ</p> <p>平9・4・1 ヘル・ポップすい星が地球に最接近</p> <p>平9・4・22 ペルーの日本人大使 公邸人質事件、武力解決</p> <p>平9・5・15 沖縄復帰25周年</p> <p>平9・6・30 香港返還</p> <p>平9・7・4 米国の火星探査機が火星に着陸</p>		
平9・8・31 ダイアナ元英皇太子妃、交通事故死	<p>平9・8・31 ダイアナ元英皇太子妃、交通事故死</p> <p>平9・9・2 アニメ映画「もののけ姫」が邦画の新記録を樹立</p>		

1998

平10・3・10

・町村文相「ナイフを持ち歩くのはもう止めよう」を子どもたちに向け緊急アピール

平9・8・18～19 全共連ビル・中会議室で開催
講演 教頭の職務の明確化と要請活動の課題
講師 東京都・全国管理職員団体協議会会長 小宮誠氏

教頭157 全国研究部長会
平9・11・27～28 ホテルフロラシオン青山で開催

教頭158 全国公立学校教頭会 第22回中央研修大会
平10・2・13 国立教育会館虎ノ門ホールで開催
講演「日本人のことばと心」
講師 評論家・東京工業大学名誉教授 芳賀綏氏

教頭159 全国公立学校教頭会 第40回定期総会
平10・6・19 国立教育会館虎ノ門ホールで開催
記念講演「逆さの視点―死から生を見る」
講師 法医学評論家（元東京都監察医務院長） 上野正彦氏

教頭160 第1回全国研究部長会
平10・7・2～3 三井ガーデンホテル蒲田で開催

教頭161 第40回全国公立学校教頭会研究大会
平10・8・5～7 福島大会を開催
テーマ「21世紀を築く学校教育の創造と教頭のあり方」
サブテーマ「共に生きるたくましい子どもの育成」

教頭162 全国要請推進部長会
平10・8・20～21 ホテルフロラシオン青山で開催

- 平9・9・5 ノーベル平和賞受賞者マザー・テレサさん死去87歳
- 〳9・10・1 長野新幹線開業
- 〳9・10・16 臓器移植法施行
- 〳9・11・7 文相町村信孝就任
- 〳9・11・16 サッカーW杯初出場
- 〳9・11・22 山一証券破綻
- 〳10・1・28 黒磯市の中1生徒が注意した女性教諭を校内で刺殺
- 〳10・2・7 長野冬季オリンピック開幕
- 〳10・3・6 長野パラリンピック開幕
- 〳10・4・5 明石海峡大橋開通
- 〳10・5・11 インド地下核実験
- 〳10・5・12 サッカーくじ法成立
- 〳10・6・9 中央省庁改革法成立
- 〳10・6・25 Windows 98発売
- 〳10・6・28 パキスタンが核実験
- 〳10・7・5 石川県総合畜産センターで世界初体細胞クローン牛誕生
- 〳10・7・6 香港国際空港開幕
- 〳10・7・25 和歌山、毒入りカレーで4人死亡
- 〳10・7・30 小渕恵三内閣成立
- 文相有馬朗人
- 〳10・8・4 新潟県で集中豪雨
- 〳10・8・7 米大使館同時爆破テロ

西暦 年月日	1999
教育の歩み（教頭の歩み）	<p>平10・12・14 11・1・13</p> <p>・文部省、幼稚園教育要領、小学校及び中学校学習指導要領告示 ・教科書検定調査審議会は小・中学校の教科書の記述スリム化へ検定基準改正決定</p> <div data-bbox="1118 697 1203 1437" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>教頭163 第2回全国研究部長会 平10・11・19、20 三井ガーデンホテル蒲田で開催 講演「現代の教育課題と教育課程」 講師 帝京大学教授 亀井浩明氏</p> </div> <div data-bbox="935 697 1089 1437" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>教頭164 全国公立学校教頭会 第23回中央研修大会 平11・2・19 国立教育会館虎ノ門ホールで開催 実践発表「総合的な学習」香川大学附属坂出中学校教頭 渡辺忠俊氏 シンポジウム「子どもたちの心の荒れを考える ―学級崩壊を中心に―」</p> </div> <div data-bbox="344 433 554 1437"> <p>・文部省が完全学校週5日制に向け高校学習指導要領改正案公表 ・文部省が新学習指導要領への切り替えに向け、二〇〇〇年度から一部前倒しする移行措置発表 ・政府が日の丸・君が代を国旗、国歌と定める国旗国歌法案を閣議決定、国会に提出 ・文部省が98年度小学校教科書検定で日の丸・君が代を国旗国歌に明確に位置付け、尊重徹底</p> </div> <div data-bbox="229 697 315 1437" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>教頭165 全国公立学校教頭会 第41回定期総会 平11・6・5 国立教育会館虎ノ門ホールで開催</p> </div>
社会事象	<p>平10・8・31 北朝鮮ミサイル発射 10・9・6 映画監督・黒沢明氏死去 10・9・27 米大リーグシーズン最多本塁打新記録（マグワイア70本、ソーサ66本） 10・10・1 温暖化対策法可決</p> <p>11・1・1 単一通貨ユーロ誕生 11・2・1 モーリス通信が衛星通信利用に切換</p> <p>11・3・24 コソボ紛争にNATO軍が軍事介入 11・4・11 東京都知事に石原慎太郎氏当選、大阪は横山ノック氏再選 11・5・1 本州四国連絡橋・尾道―今治ルート開通 11・5・21 国際保護鳥トキの人工孵化成功 11・6・20 コソボ紛争終結</p>

<p>2000</p>	<p>平11・7・8</p>	<p>平11・8・13</p>	<p>平12・1・21</p>
<p>・文部省が大学入学資格検定の受験条件を緩和 義務教育なしでも大学進学を可能にした</p> <p>・文部省が学校教育法施行規則等の一部を改正する省令の施行について（通知）</p> <p>・校長のリーダーシップで職員会議や学校評議員関係の整備を行う。</p> <p>・校長の資格・民間校長・教頭を容認</p>	<p>教頭166 全国研究部長会 平11・7・8～9 虎ノ門パストラルで開催</p>	<p>教頭167 全国要請推進部長会 平11・7・26～27 日本都市センターで開催 講演 教頭の職務に関わる課題 講師 東京都教育管理職員協議会会長 千葉一矢氏</p>	<p>教頭168 第41回全国公立学校教頭会研究大会 平11・8・4～6 愛知大会を名古屋で開催 記念講演 日本経済の将来と社会の変容 ――明日を拓く子どもの育成に向けて―― 講師 中京大学教授・東海総合研究所理事 水谷研治氏 シンポジウム 共に手を取り、明日を拓く子どもの育成</p>
<p>教頭170 第24回中央研修大会 平12・2・18 国立会館虎ノ門ホールで開催 実践発表 総合的な学習の時間 シンポジウム 今後求められる学力とは</p>	<p>教頭169 全国研究部長会 平11・11・25～26 虎ノ門パストラルで開催</p>	<p>平11・8・9 組織犯罪対策3法が参院本会議で可決・成立 平11・8・17トルコ北西部でM7.4の大規模地震発生。死者一万四千人以上 平11・8・30東ティモールでインドネシアからの独立か併合を問う住民投票実施 平11・9・30茨城県東海村の核燃料加工施設で日本初の臨界事故 平11・10・5文相 中曽根弘文 平11・10・12サラエボで誕生した男児で世界人口60億人（国連） 平11・11・9ベルリンの壁崩壊10周年式典 平11・11・12天皇陛下の即位10年を祝う会を政府主催で開催 平12・1・1Y2K（2000年問題）、大きなトラブルなし</p>	<p>教頭170 第24回中央研修大会 平12・2・18 国立会館虎ノ門ホールで開催 実践発表 総合的な学習の時間 シンポジウム 今後求められる学力とは</p>

西暦 年月日		教育の歩み（教頭の歩み）	社会事象
<p>平12・4・1</p> <p>東京都教育委員会教員人事考課制度の導入・実施、東京品川区で小学校の学校選択制開始</p> <div data-bbox="1082 697 1205 1437" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>教頭171 全国公立学校教頭会創立40周年記念行事 平12・2・19 シェーンバッハ・サボール（砂防会館別館）で開催</p> </div> <div data-bbox="908 697 993 1437" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>教頭172 全国公立学校教頭会 第42回定期総会 平12・6・3 日本教育会館一ツ橋ホールで開催</p> </div> <div data-bbox="725 697 879 1437" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>教頭173 第1回全国研究部長会 平12・7・6～7 虎ノ門パストラルで開催 講演「心の教育と特色ある学校教育」 講師 東京農業大学教授 渡部邦雄氏</p> </div> <div data-bbox="611 697 696 1437" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>教頭174 全国要請推進部長会 平12・7・27～28 日本都市センターホテルで開催</p> </div> <div data-bbox="358 697 582 1437" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>教頭175 第42回全国公立学校教頭会研究大会香川大会 平12・8・2～4 香川県高松市で開催 記念講演「言葉と文化」 講師 荻原すなお氏（直木賞作家） サブテーマ「生きる力をはぐくむ教育を推進する学校づくり」</p> </div> <div data-bbox="175 697 329 1437" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>教頭176 全国研究部長会 平12・11・28～29 虎ノ門パストラルで開催 講演「志と人生」 講師 篠田教育振興会会長 篠田喜作氏</p> </div>	<p>平12・3・29 北海道・有珠山が噴火</p> <p>平12・4・2 小渕首相が入院 内閣総辞職</p> <p>平12・4・5 森喜朗連立内閣成立</p> <p>平12・5・24 ストーカー規制法公布</p> <p>平12・7・4 文相大島理森</p> <p>平12・7・1 沖繩サミット開催</p> <p>平12・9・1 三宅島噴火で全島民避難</p> <p>平12・9・15 シドニー五輪開幕日 本人女性大活躍</p> <p>平12・10・10 ノーベル化学賞に白川英樹氏決定</p> <p>平12・11・27 政府はIT基本戦略を決定</p>		

		2001
<p>平12・12・22</p> <p>首相の諮問機関「教育改革国民会議」が、教育基本法の見直しや奉仕活動の見直しなど17の提案・最終報告</p> <p>文科省、「21世紀教育再生プラン策定、(「ゆめ基金」創設など)」</p>	<p>平13・1・26</p>	<p>平12・12・22</p>
<p>平13・6・11</p> <p>大坂教育大学附属池田小学校に刃物を持った男が乱入し、児童8人を刺殺する事件発生</p> <p>文科省、幼児・児童・生徒の安全確保及び学校の安全管理に関する緊急対策について(通知)</p>	<p>平13・6・1</p> <p>大阪府教育委員会、教員人事考課制度(評価・育成システム)を導入</p> <p>2000年度一年間で30日以上欠席・不登校小中学生が過去最高の13万4000人に、9年連続の増加</p>	<p>平13・4・1</p>
<p>教頭178 全国公立学校教頭会 第42回定期総会 平13・6・2 日本都市センターホテルで開催</p>	<p>教頭177 第25回中央研修大会 平13・2・16 国立教育会館虎ノ門ホール 実践発表「滋賀県・治田西小学校の学校協議会の取り組みについて」山田武士校長 シンポジウム「開かれた学校づくりの在り方」(学校参画と学校選択をめぐる)</p>	<p>平13・2・16</p>
<p>教頭180 全国研究部長会 平13・7・26～27 日本都市センターホテルで開催 講演「学校教育法の教頭職務規定の解釈と行政・立法的課題」</p>	<p>教頭179 全国研究部長会 平13・7・5～6 虎ノ門パストラルで開催 講演「新時代の教育をどう構築するか —教育改革と学校運営—」 講師 東京大学教育学部長 藤田英典氏</p>	<p>平13・7・26</p>
<p>平13・7・29 第19回参院選</p>	<p>平13・4・1 情報公開法施行</p> <p>平13・4・3 「つくる会」の歴史教科書が検定合格</p> <p>平13・4・26 小泉純一郎内閣成立</p> <p>文相遠山敦子</p>	<p>平13・4・1</p>
<p>平12・12・5 文相町村信孝</p> <p>平13・1・6 中央省庁再編「1府12省庁」となる</p> <p>平13・1・20 文部省が文部科学省となる。米国でブッシュ政権発足</p> <p>平13・2・16 米英がイラク空爆開始</p>	<p>平13・1・6</p>	<p>平12・12・5</p>

西暦	年月日	教育の歩み（教頭の歩み）	社会事象
2002	平13・12・12 14・1・26	<p>子どもの読書活動の推進に関する法律の施行 遠山文科相、学力低下への対応で「学びのすすめ」をアピール</p>	<p>平13・9・1 新宿で雑居ビル火災死者44人 13・9・11 米で同時多発テロ発生 13・10・10 野依良治氏にノーベル化学賞 13・10・31 日本の総人口1億2692万人に 13・11・28 改正少年法公布（刑罰対象年齢を16歳から14歳に） 14・2・8 ソルトレーク冬季五輪開幕</p>
	14・4・1	<p>完全学校週5日制実施・新学習指導要領安全実施</p>	<p>14・5・21 地球温暖化防止京都議定書批准承認</p>
	14・7・4	<p>文科省勤務時間の適正徹底 夏季休業期間等における公立学校職員の勤務管理について（通知） 文科省、「心のノート」を全国の小・中学生に配布</p>	<p>14・5・31 韓サッカーW杯開幕</p>

教育の歩み（教頭の歩み）

講師 上越教育大学教授 若井彌一氏

教頭181 第43回全国公立学校教頭会研究大会

平13・8・2～4 群馬大会を前橋市、渋川町、伊香保町で開催

記念講演「尾瀬に生きる」

講師 平野紀子氏

（尾瀬長蔵小屋三代目小屋主 平野長靖夫人）

サブテーマ たくましく明日を創造する子どもの育成を目指して

教頭182 全国公立学校教頭会 第26回中央研修大会

平14・2・15 東京、日本青年館で開催

講演「新学習指導要領を生かす学校運営」

講師 文部科学省大臣官房総括会計官 徳永保氏

シンポジウム「学校週5日制、子どもの学力と生活はどう変わるのか」

教頭183 全国公立学校教頭会 第44回定期総会

平14・6・7 虎ノ門パストラルで開催

2003	平14・10・8 平15・3・20	<p style="text-align: right;">自由と規律、協調性、礼儀、公德心、愛国心、伝統尊重、公への貢献、感謝、責任、畏敬の念などがイラスト入りで説明されている。</p> <p style="text-align: center;"> 教頭184 全国研究部長会（第1回） 平14・7・4～5 虎ノ門パストラルで開催 講演「現代の教育改革と教頭の職務」 講師 九州大学大学院教授 中留武昭氏 </p> <p style="text-align: center;"> 教頭185 第44回全国公立学校教頭会研究大会札幌大会 平14・7・31～8・2 北海道、札幌市で開催 記念講演「映画における人間の生き方」 講師 大林宜彦氏（映画作家） サブテーマ 子ども一人一人が生きる多様で豊かな教育活動を求めて </p> <p style="text-align: center;"> 教頭186 全国研究部長会（第2回） 平14・11・26～27 虎ノ門パストラルで開催 講演「開かれた学校づくりと教頭の在り方」 講師 筑波大学教授 小島弘道氏 </p> <p style="text-align: center;"> 教頭187 全国公立学校教頭会 第27回中央研修大会 平15・2・21 文科省分館虎ノ門ホールで開催 基調講演「これからの時代に求められる学力とは」 講師 東海大学教育開発研究所教授 秋山仁氏 シンポジウム「生きる力と学力」 </p> <p>中央教育審議会、新しい時代にふさわしい教育基本法と教育基本計画の在り方について（答申）</p> <p>構造改革特別区推進プログラム発表（「教育特区」として、小学校での英語教育、小中一貫教育、不登校生徒のための学校や株式会社学校経営を一部で認める）</p>	<p style="text-align: right;">平14・7・6 両陛下東欧諸国歴訪</p> <p style="text-align: center;"> 平14・9・17 小泉首相、北朝鮮訪門 平14・10・8 小柴昌俊氏にノーベル物理学賞 平14・10・9 田中耕一氏にノーベル化学賞 平14・10・15 北朝鮮「拉致」の5人帰国 平14・10・23 モスクワで劇場占拠事件、人質129人が犠牲に 平14・11・8 中国、江総書記引退 平14・12・1 東北新幹線八戸延伸 東京八戸2時間56分 </p> <p>平15・3・19 米英軍イラク攻撃開始</p>
------	----------------------	---	--

西暦 年月日		教育の歩み（教頭の歩み）	社会事象
平15・4・1	学校教育法の一部を改正する法律改訂（教職大学院の開設など）	<div data-bbox="1058 697 1148 1437" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>教頭188 全国公立学校教頭会 第45回定期総会 平15・6・13 日本都市センターホテルで開催</p> </div> <div data-bbox="875 697 1032 1437" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>教頭189 全国研究部長会（第1回） 平15・7・3～4 虎ノ門パストラルで開催 講演「現代の教育改革と教頭の職務研究」 講師 九州大学名誉教授 中留武昭氏</p> </div> <div data-bbox="692 697 849 1437" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>教頭190 全国要請推進部長会 平15・7・22～23 都市センターホテルで開催 講演「新しい教頭像を目指して」 講師 国立教育研究所名誉所員 菱村幸彦氏</p> </div> <div data-bbox="439 697 664 1437" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>教頭191 第45回全国公立学校教頭会研究大会 平15・7・30～8・1 大阪で開催 記念講演「なにわの文化の魅力」 講師 直木賞作家 難波利三氏 サブテーマ 基礎・基本の力を着実に身につけ、生き生きと学び、生活できる子どもの育成を目指して</p> </div> <div data-bbox="219 697 411 1437" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>教頭192 全国研究部長会（第2回） 平15・11・26～27 虎ノ門パストラルで開催 講演「新しい学校評価によるシステムの構築」 ——共・創・考・開を指向する組織マネジメントの展開—— 講師 国立教育政策研究所統括研究官 木岡一明氏</p> </div>	<p>平15・4・1 日本郵政公社発足</p> <p>〳 15・4・14 ヒトゲノム解読完了</p> <p>〳 15・5・23 個人情報保護法成立</p> <p>〳 15・6・6 有事関連3法成立</p> <p>〳 15・7・26 イラク特措法成立</p> <p>〳 15・9・20 自民総裁選小泉首相が圧勝</p> <p>〳 15・9・24 民主党と自由党が合併</p> <p>〳 15・11・9 第43回衆院選（自民237、民主177、公明34など）</p> <p>〳 15・12・1 地上デジタル放送始まる</p> <p>〳 15・12・23 米国で初のBSE牛</p>

		2004
<p>教科196 第46回全国公立学校教頭会研究大会</p>	<p>教科195 全国要請推進部長会 平16・7・21～22 虎ノ門パストラルで開催 講演「これからの学校の管理・運営を考える」 講師 東京・品川区教育長 若月秀夫氏</p>	<p>平15・12・26 文科省、学習指導要領を一部改訂告示 (ゆとり教育修正、発展的な学習、補充的な学習、習熟度別指導の奨励などを追記) 中教審「今後の学校運営の在り方について」答申 (地域運営学校の創設等) 国立大学法人化、法科大学院制度開始</p>
<p>教科193 全国公立学校教頭会 第46回定期総会 平16・6・4 都市センターホテルで開催</p>	<p>教科194 全国研究部長会(第1回) 平16・7・1～2 虎ノ門パストラルで開催 講演「職能団体としての教頭会」 講師 上越教育大学教授 若井彌一氏</p>	<p>教科193 第28回全国公立学校教頭会中央研修大会 平16・2・20 東京・大田区民ホール「アプリコ」で開催 基調講演「学校のモノサシと人生のモノサシ」 講師 作家・精神科医 なだいなだ氏 シンポジウム「学ぶ意欲を育むものは」</p>
<p>教科192 全国公立学校教頭会 第45回定期総会 平16・5・22 日朝首脳会談、拉致被害者家族が帰国</p>	<p>教科191 全国公立学校教頭会 第45回定期総会 平16・5・21 裁判員法が成立</p>	<p>平16・5・14 学校教育法等の一部を改正する法律成立 (栄養教諭の創設等)</p>
<p>教科189 全国公立学校教頭会 第44回定期総会 平16・4・7 改正児童虐待防止法成立</p>	<p>教科188 全国公立学校教頭会 第44回定期総会 平16・3・13 九州新幹線開業</p>	<p>平16・3・4 九州新幹線開業</p>
<p>教科187 全国公立学校教頭会 第43回定期総会 平16・2・21 裁判員法が成立</p>	<p>教科186 全国公立学校教頭会 第43回定期総会 平16・1・12 国内で鳥インフルエ ンザ確認</p>	<p>平16・1・12 国内で鳥インフルエ ンザ確認</p>
<p>教科185 全国公立学校教頭会 第42回定期総会 平16・1・13 新潟で集中豪雨被害</p>	<p>教科184 全国公立学校教頭会 第42回定期総会 平16・6・2 道路公団民営化成立</p>	<p>平16・6・2 道路公団民営化成立</p>
<p>教科183 全国公立学校教頭会 第41回定期総会 平16・6・1 佐世保の小学校内で、 小6少女が同級生を刺殺</p>	<p>教科182 全国公立学校教頭会 第41回定期総会 平16・7・13 新潟で集中豪雨被害</p>	<p>平16・7・13 新潟で集中豪雨被害</p>

西暦 年月日	2005	教育の歩み（教頭の歩み）	社会事象
平16・9・30		<p>全国公立学校教頭会編集「Q&A学校管理・運営の法律実務」刊行</p>	
平16・12・7		<p>教頭197 全国研究部長会（第2回） 平16・11・24～25 虎ノ門パストラルで開催 講演「組織マネジメントと教員の資質向上」 講師 九州大学大学院教授 八百板修氏</p>	
平16・4・21		<p>OECD学習到達度調査（PISA）結果を発表 （読解力・応用力の低下指摘）</p> <p>教頭198 全国公立学校教頭会 第29回中央研修大会 平17・2・18 東京・板橋区立文化会館で開催 基調講演「今、子どもの心に起きていることは」 講師 園田学園女子大学教授 野口克海氏 シンポジウム「うるおいのある心を育むためには」</p>	
平17・6・3		<p>文科省、全国学力調査結果を発表 ゆとり教育のもと、学力改善の兆しあり</p> <p>教頭199 全国公立学校教頭会 第47回定期総会・研修会 平17・6・3 都市センターホテルで開催</p>	
平16・8・13			<p>アテネで108年ぶりに五輪開催、日本メダルラッシュ</p>
平16・9・1			<p>浅間山噴火</p>
平16・9・27			<p>小泉内閣改造</p>
平16・10・23			<p>文科大臣 中山成淋 新潟中越地震発生（震度7）</p>
平16・10・20			<p>台風23号（死者・不明23人）</p>
平16・12・22			<p>国内初の鳥インフルエンザ感染者</p>
平16・12・26			<p>スマトラ沖地震、インド洋に大津波</p>
平17・2・17			<p>中部国際空港（セントレア）が開港</p>
平17・2・25			<p>愛知万博（愛・地球博）が開幕</p>

	<p>平17・6・17</p> <p>食育基本法公布</p>
<p>平17・11・30</p> <p>義務教育費国庫負担率をこれまでの国と都道府県の負担金を1/2から1/3に引き下げることと政治決着する</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 20%; border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>教頭203 全国研究部長会（第2回） 平17・11・22～23 虎ノ門パストラルで開催 講演「学校の構造改革と教員評価」 講師 国立教育政策研究所 小松郁夫部長</p> </div> <div style="width: 20%; border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>教頭202 第47回全国公立学校教頭会全国研究大会 平17・8・3～5 宮崎県宮崎市で開催 記念講演「憧れを育てる」 講師 宮崎県看護大学教授・作家 伊藤一彦氏 サブテーマ「夢や希望を抱き、自分に自信と誇りをもつ子ども」の育成</p> </div> <div style="width: 20%; border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>教頭201 全国要請推進部長会 平17・7・25～26 虎ノ門パストラルで開催 講演「人事考課制度の光と陰」 講師 上越教育大学教授 若井彌一氏</p> </div> <div style="width: 20%; border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>教頭200 全国研究部長（第1回） 平17・7・7～8 虎ノ門パストラルで開催 講演「教員人事考課と評定」 講師 日本女子大学教授 佐藤全氏</p> </div> <div style="width: 20%; border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>研修講演「義務教育改革について」 講師 文科省初中局企画課長 前川喜平氏</p> </div> </div>
<p>平17・10・31 小泉改造内閣 文科大臣 小坂憲次</p>	<p>平17・7・22 文字・活字文化振興法が成立</p> <p>平17・9・11 第44回衆院選挙で自民党安定多数獲得</p> <p>平17・10・15 年毎に行う国政調査</p> <p>平17・10・14 郵政民営化法案が成立</p>

西暦	年月日	教育の歩み（教頭の歩み）	社会事象
2006	平18・6・21	<p>特別支援教育推進のための学校教育法の一部改正について（通知）</p> <div data-bbox="958 697 1182 1437" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>教頭204 第30回全国公立学校教頭会中央研修大会 平18・2・17 東京厚生年金会館ホール（新宿）で開催 基調講演「確かな学力と学習力を育てる」 講師 教育創造研究センター所長 高階玲治氏 シンポジウム「日本の教育、現状と未来―フィンランドの教育から見えてくること―」</p> </div> <div data-bbox="739 697 929 1437" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>教頭205 全国公立学校教頭会 第48回定期総会・研修会 平18・6・9 虎ノ門パストラルで開催 研修講演「学校評価等による義務教育の質の保証・向上について」 講師 文部科学省初中局主任視学官 伯井美德氏</p> </div> <div data-bbox="496 697 651 1437" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>教頭206 全国研究部長会（第1回） 平18・7・6～7 虎ノ門パストラルで開催 講演「学習指導要領の改訂の方向と学校現場の課題」 講師 兵庫教育大学学長・中教審委員 梶田叡一氏</p> </div> <div data-bbox="311 697 465 1437" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>教頭207 全国要請推進部長会 平18・7・24～25 都市センターホテルで開催 講演「主幹制の導入と学校運営の課題」 講師 上越教育大学教授 若井彌一氏</p> </div> <div data-bbox="197 697 282 1437" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>教頭208 第48回全国公立学校教頭会研究大会 平18・8・2～4 山形県・山形市で開催</p> </div>	<p>平18・1・13 新潟県・福井県などに豪雪被害多発 （平成18年豪雪と名づける） 〳18・2・10 トリノ五輪開幕 〳18・2・21 厚労省発表、我が国の人口が昨年より4361人減っていると初の人口減傾向の発表 〳18・5・27 インドネシア・ジャワ島で地震死者6000人を超す</p> <p>〳18・7・31 埼玉県ふじみの市市営プールで小2女児が吸入口に吸い込まれて死亡 〳18・8・10 大学・短大への進学率が52・3%と過去最高にな</p>

2007	
<p>平18・9・21 中教審、スポーツ振興基本計画の改正・告示 安倍首相の私的諮問機関「教育再生会議」発足 文科大臣「いじめ問題への緊急提言を発表」</p>	<p>平18・11・29 文科大臣「いじめ問題への緊急提言を発表」</p>
<p>平18・12・15 改正「教育基本法」国会で可決・成立、22日公布・施行 (昭和22年以来の改訂)</p>	<p>平18・12・15 改正「教育基本法」国会で可決・成立、22日公布・施行 (昭和22年以来の改訂)</p>
<p>平19・4・1 学校教育法等の一部を改正する法律の施行(特別支援教育・教育職員免許法等の一部改正) 全国学力・学習状況調査 (43年ぶりに全国学力テストを実施)</p>	<p>平19・4・1 学校教育法等の一部を改正する法律の施行(特別支援教育・教育職員免許法等の一部改正) 全国学力・学習状況調査 (43年ぶりに全国学力テストを実施)</p>
<p>平19・6・8 東京・虎ノ門パストラルで開催 教頭211 全国公立学校教頭会 第49回定期総会・研修会</p>	<p>平19・2・16 東京・文京シビックホールで開催 教頭210 第31回全国公立学校教頭会中央研修大会 基調講演「学校力の向上と教頭の役割」 講師 千葉大学大学院教授 上杉賢士氏 シンポジウム「学習指導要領の改訂の方向性をどのようにとらえ、学校の課題をどう解決していくか」</p>
<p>平19・11・21～22 虎ノ門パストラルで開催 教頭209 全国研究部長会(第2回) 講演「学習指導要領の方向性と学校の課題」 講師 東京大学大学院教授 市川伸一氏</p>	<p>平18・11・21～22 虎ノ門パストラルで開催 講演「学習指導要領の方向性と学校の課題」 講師 東京大学大学院教授 市川伸一氏</p>
<p>平19・4・8 統一地方選手 平19・5・25 児童虐待防止法成立</p>	<p>平19・4・8 統一地方選手 平19・5・25 児童虐待防止法成立</p>
<p>平18・9・26 安倍晋三総理発足、戦後生まれの首相は初めて、文科大臣 伊吹文明 平18・10・11 「いじめ苦」自殺相次ぐ 平18・11・16 文科省に自殺予告手紙合計32通に</p>	<p>平18・9・26 安倍晋三総理発足、戦後生まれの首相は初めて、文科大臣 伊吹文明 平18・10・11 「いじめ苦」自殺相次ぐ 平18・11・16 文科省に自殺予告手紙合計32通に</p>

西暦 年月日		教育の歩み（教頭の歩み）	社会事象
平19・6・20		<p>学校教育法の一部を改正する法律、地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律、及び教育職員免許法及び教育公務員特例法の一部を改正する法律の公布について（教育三法が国会で可決・成立）</p> <p>研修講演「国の教育改革、最新情報」 講師 文科学省初中教育局主任視学官 伯井美徳氏</p>	平19・6・28 島根県石見銀山が世界遺産に登録
平19・11・15		<p>文科省、学校現場の負担軽減プロジェクトチームを設置 （全公教からも委員を派遣）</p> <p>教頭212 全国要請推進部長会 平19・7・23～24 都市センターホテルで開催 講演「学校評価（外部評価）と学校の組織的運営について」 講師 東京大学大学院准教授 勝野正章氏</p>	平19・7・16 新潟県中越沖地震が発生（M6・8）
平19・8・1～3		<p>教頭213 第49回全国公立学校教頭会研究大会 平19・8・1～3 福井県福井市で開催 記念講演「信は力なり」 講師 京都市伏見工業高校ラグビー部総監督 山口良治氏 サブテーマ「郷土に誇りをもち、未来にたくましく生きる子どもの育成」</p>	平19・9・26 福田康夫内閣発足文科大臣 渡海紀三朗
平19・11・29～30		<p>教頭214 全国研究部長会（第2回目） 平19・11・29～30 虎ノ門パストラルで開催 講演「学習指導要領改定と学校教育」 講師 帝京大学教授 市川博氏</p>	平19・10・1 日本郵政公社が民営化してスタート
平19・12・4		<p>2006年度のOECD「生徒の学習到達度調査（PIISA）」発表 教育再生会議第三次報告（社会総がかりで教育再生を）</p>	平19・12・12 灯油・ガソリン最高値更新（レギュラーガソリン155円／ℓ）
平19・12・25			平19・12・12 今年を表す漢字は「偽」（食品偽装などが目立った一年）

		2008
<p>平20・1・17 中央教育審議会「学習指導要領」改訂への答申を提出 文科省、「義務教育諸学校における学校評価ガイドライン」（2006年3月）を、「学校評価ガイドライン」として改訂</p>	<p>平20・1・17 中央教育審議会「学習指導要領」改訂への答申を提出 文科省、「義務教育諸学校における学校評価ガイドライン」（2006年3月）を、「学校評価ガイドライン」として改訂</p>	<p>平20・1・17 中央教育審議会「学習指導要領」改訂への答申を提出 文科省、「義務教育諸学校における学校評価ガイドライン」（2006年3月）を、「学校評価ガイドライン」として改訂</p>
<p>平20・3・28 文部省、幼・小・中学習指導要領公示（脱ゆとり教育、授業時間増や言語活動の充実、愛国心を明記）</p>	<p>平20・3・28 文部省、幼・小・中学習指導要領公示（脱ゆとり教育、授業時間増や言語活動の充実、愛国心を明記）</p>	<p>平20・3・28 文部省、幼・小・中学習指導要領公示（脱ゆとり教育、授業時間増や言語活動の充実、愛国心を明記）</p>
<p>平20・6・18 文科省、学校保健法等の一部を改訂して、「学校保健安全法」を公布 教育振興基本計画、閣議決定</p>	<p>平20・6・18 文科省、学校保健法等の一部を改訂して、「学校保健安全法」を公布 教育振興基本計画、閣議決定</p>	<p>平20・6・18 文科省、学校保健法等の一部を改訂して、「学校保健安全法」を公布 教育振興基本計画、閣議決定</p>
<p>教頭215 第32回全国公立学校教頭会中央研修大会 平20・2・14 東京・メルパルクホールで開催 基調講演「新学習指導要領とこれからの学校教育のあり方」 講師 兵庫教育大学学長 梶田毅一氏 シンポジウム「新学習指導要領と学校づくり」</p>	<p>教頭216 第50回全国公立学校教頭会定期総会 平20・6・13 虎ノ門パストラルで開催 財政対策問題等で活発な意見交換</p>	<p>教頭217 全国研究部長会 平20・7・10～11 虎ノ門パストラルで開催 ワークショップ研修「校内研修をどう進めるか」 講師 創価大学教授 関田一彦氏</p>
<p>教頭218 全国要請推進部長会（第1回） 平20・7・24～25 都市センターホテルで開催 講演「総合的な学習の時間を生かす学校カリキュラム」 講師 信州大学教育学部 伏木久始氏 文科省特別講演「教職調整額に係る検討経緯等について」</p>	<p>平20・1・1 温室効果ガス削減の京都議定書発効 平20・1・30 中国製ギョーザ中毒事件</p>	<p>平20・4・1 後期高齢者医療制度スタート 平20・5・12 中国・四川省大地震（M8、被災者1000万人） 平20・6・4 岩手・宮城内陸地震（M7.2）</p>

西暦 年月日	2009
<p>教育の歩み（教頭の歩み）</p>	<p>平20・11・12 文科省「ネット上のいじめ」に関する対応マニュアル・事例集発表</p> <p>教頭220 全国研究部長会（第2回） 平20・12・11～12 虎ノ門パストラルで開催 講演「新学習指導要領に基づく特色ある教育課程の編制」 講師 国立教育政策研究所初中教育研究部長 工藤文三氏</p> <p>教頭221 全国要請推進担当者研修会 平20・12・26 虎ノ門パストラルで開催 講演「OJT（校内研修）と教頭の役割」 講師 日本女子大学教授 澤本和子氏</p> <p>文科省、学校における携帯電話等の取扱い等に関する調査結果公表、小中学校に児童・生徒が携帯電話を持ち込むことを原則禁止の通知 文科大臣「心を育む」ための5つの提案発表</p> <p>教頭222 第33回全国公立学校教頭会中央研修大会</p>
<p>社会事象</p>	<p>平20・8・2 福田改造内閣文科大臣 鈴木恒夫 平20・8・8 北京五輪開幕 （史上最多204ヶ国参加） 平20・9・15 米大手証券会社リーマン・ブラザーズ経営破綻、この年で金融危機深刻化、世界経済も大混乱 平20・9・24 麻生太郎内閣発足 文科大臣 塩谷立 平20・10・7 ノーベル物理学・化学賞に日本から4人選出 平20・11・4 米大統領選挙でバラク・オバマ氏圧勝 平20・12・26 非正規労働者や派遣労働者の失職が社会問題化</p>

	<p>平21・3・9 平21・4・1</p> <p>文部省、高校及び特別支援学校学習指導要領公示 教職員等免許更新制、本格実施</p> <div data-bbox="1063 695 1249 1431" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>平21・2・12 東京・メルパルクホールで開催 基調講演「学校の人間力を高める」 講師 玉川大学教職大学院教授 小松郁夫氏 シンポジウム「子どもたちの人間力をはぐくむ創意あふれる学校づくりと教頭の役割」</p> </div> <div data-bbox="849 695 935 1431" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>教頭223 第51回全国公立学校教頭会定期総会 平21・6・1 都市センターホテルで開催</p> </div> <div data-bbox="456 695 821 1431" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>教頭224 全国公立学校教頭会結成50周年― 第51回全国公立学校教頭会研究大会 平21・7・29～31 千葉県千葉市で開催 記念講演「自分という人生の長距離ランナー―きずなを力に―」 講師 スポーツジャーナリスト 増田明美氏 サブテーマ「きずなを大切に力強く未来を切り拓く子どもの育成」 ※全公教結成50周年記念式典並びに祝賀会は、7月29日に全国大会千葉大会開会行事と兼ねて厳粛に行う。</p> </div>
<p>平21・4・21 文科省による3回目の全国学力調査過去2回不参加の愛知県犬山市も参加全国の公立小中学校で実施</p> <p>平21・5・8 メキシコに端を發した新型インフルエンザ世界的に大流行</p> <p>平21・5・20 新型インフルエンザ感染者、世界で1万人を超す。国内では193人に、マスクが各地で品薄に、修学旅行の中止・延期相次ぐ</p> <p>平21・5・21 国民が重大な刑事裁判の審理に参加する「裁判員制度」の運用開始</p> <p>平21・8・30 第45回衆院選挙 民主党圧勝 (民主308、自民119、公明21、共産9、社民7など)</p> <p>平21・9・16 鳩山内閣発足 (民主・社民・国民新・三党連立)</p> <p>文科大臣 川端達夫</p>	